

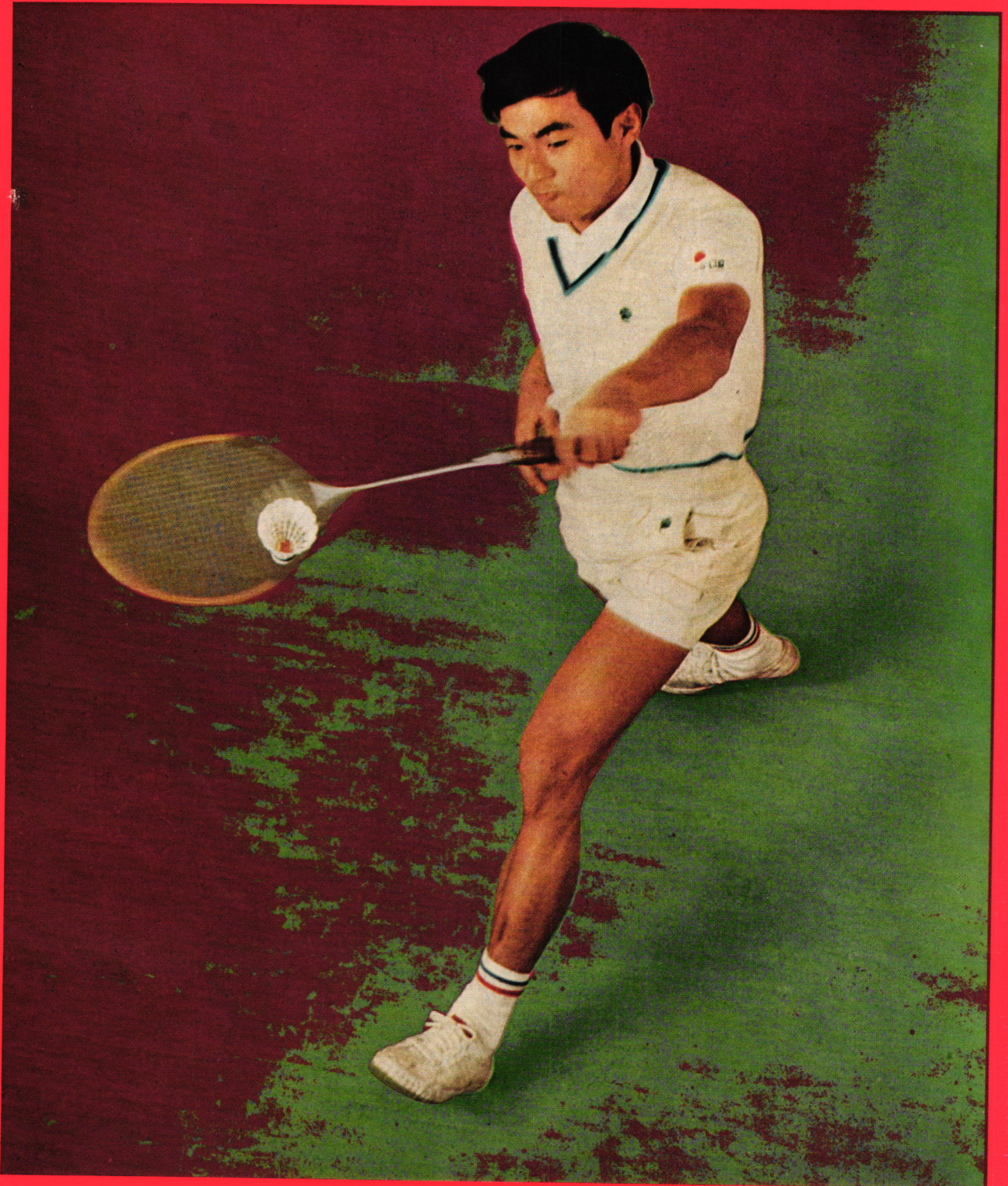
昭和45年1月1日発行毎月1回1日発行
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

no. 5
1970
january



反撥力 抜群!

ストレート特殊スチールパイプで
シャフトの効果が倍増されました
あなたのプレイが注目的です

新製品 No.3500 キングメイト

KING MATE



- シャフトの反撥力をフルに発揮できる全長16cm直径 6.5mmのストレート特殊スチールパイプを使用
- 小銀杏構造と輸入木材を基にした革命的な特殊合板でバランス、耐久力は抜群



サ ン 家 夕

株式会社 諸江製作所

東京都渋谷区笹塚2丁目46番8号
電話 (377) 4401 (代表)

「バドミントン界」《第五号》

■ 写真グラフィック ■
 〈女王の座めざして〉 全日本学生の熱戦から…………… 1

■ 特集 ■

〈全日本選手権速報〉…………… 4

▽決勝評……沼館義明 ▽総評……吉広紀代子

▽選手のごときは(ミニ・インタビュー)

〈備えは鉄壁、近づくト杯の決戦〉…………… 7

▽決戦を前に……小宮淳宏 ▽合宿から……福井正康

▽先輩の激励 ▽候補選手名簿 ▽日本の参加史

〈女子選手の総合体力〉 新潟大の研究から…………… 10

■ 連載 ■

〈技術講座〉 百万人のバドミントンの上達法

▽統・スピード強化のトレーニング…………… 遠井稔男…………… 14

▽体力をつけましょう…………… 伊藤基記…………… 15

▽統・サービスの重要性…………… 毛利清志…………… 16

〈私の場合〉 連日の30キロ・マラソン…………… 永井栄一…………… 26

〈理事長対談〉 あっと驚く老化現象…………… 池田敬子氏…………… 3

■ よみもの ■

〈ヒロイン〉 湯木博江という女…………… 後藤忠弘…………… 28

〈スポーツと心理学〉…………… 後藤忠弘…………… 28

〈北から南から〉 仙台で世界選手権者招待大会…………… 竹市行男…………… 29

〈海外の話題〉…………… 竹市行男…………… 30



〈競技会〉 第一回全国青年大会…………… 13

質問箱…………… 告知板…………… 32

ルール百問・3…………… (アピン)…………… 31

〈RECORD〉 全日本学生詳報ほか…………… 32

表紙…………… 編集部から…………… 38

次号予告…………… 編集後記…………… 38

全記録入り全日本総合選手権プログラム…………… 17

表紙／撮影・松井亮磨／デザイン・小浜正道
 カット／おおば比呂志・秦浩／題字・今井由紀子

水鳥 検定合格球

ファストゴールド
ファストシルバー



ファスト印シャトル
コック製造発売元

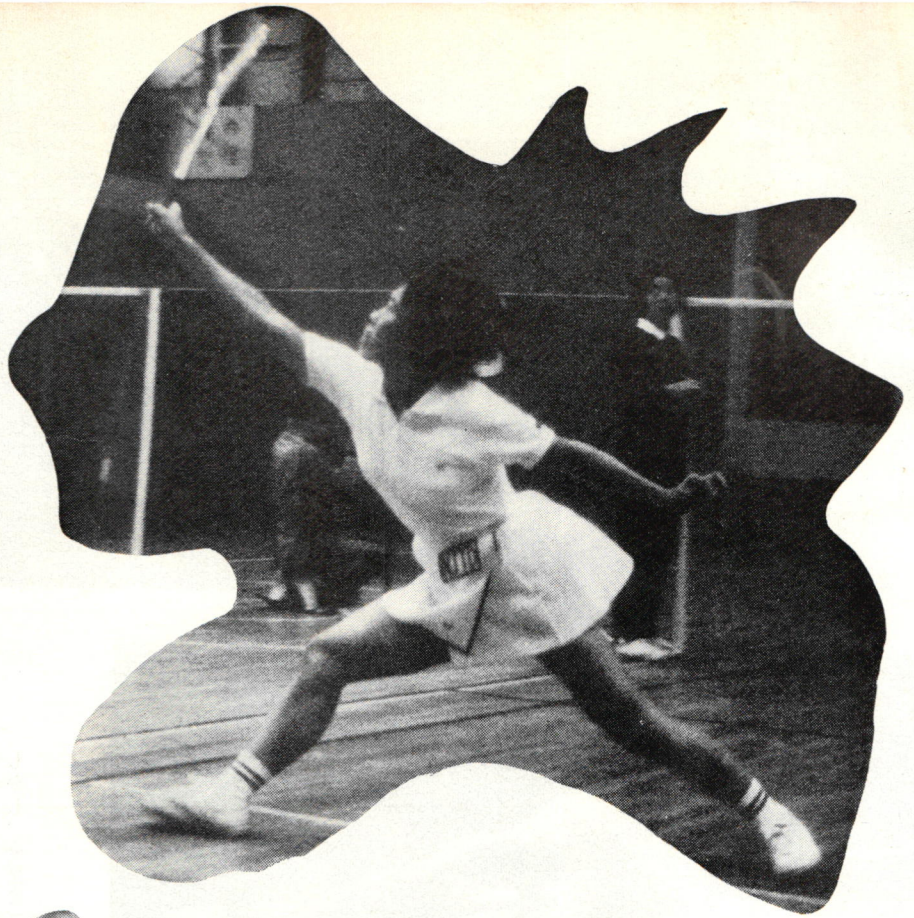
有限会社

ジャワ商会

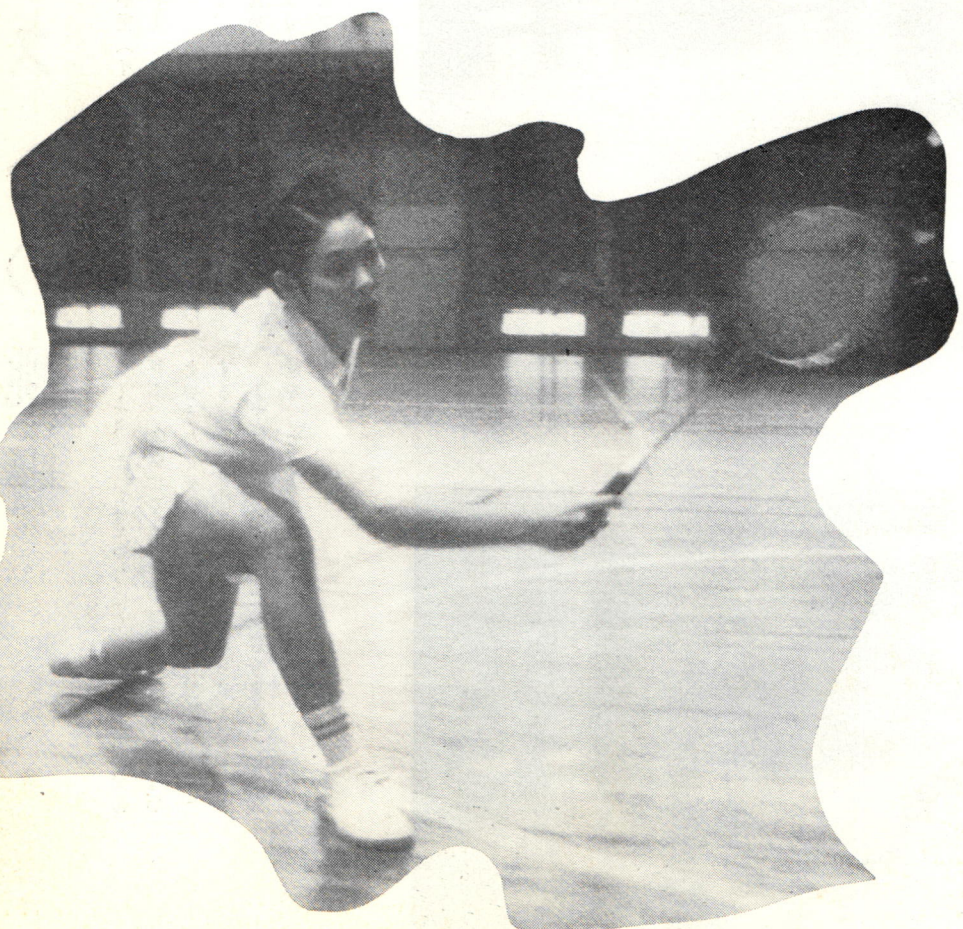
山形市六日町7-28
電話 02362 (2) 3994

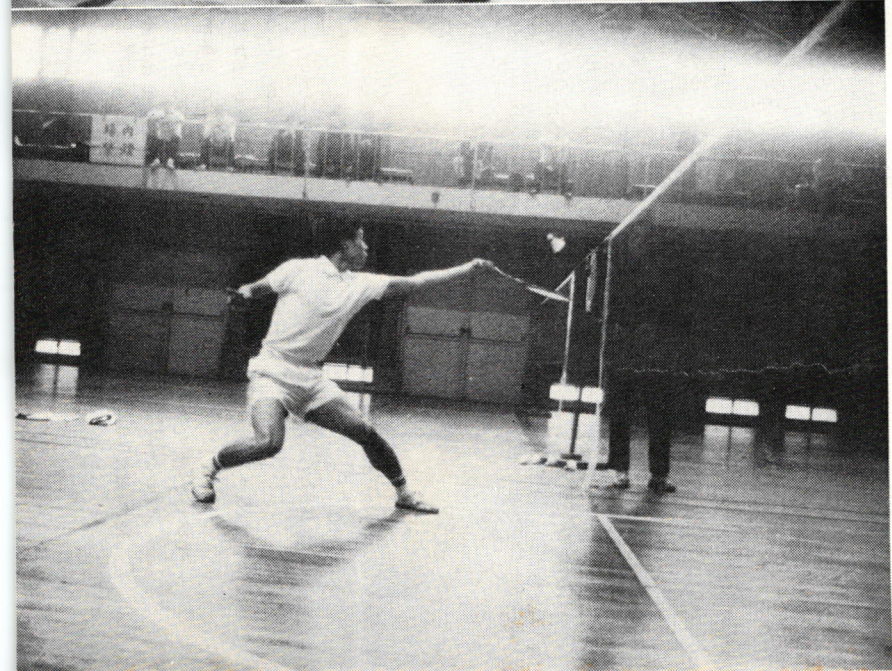
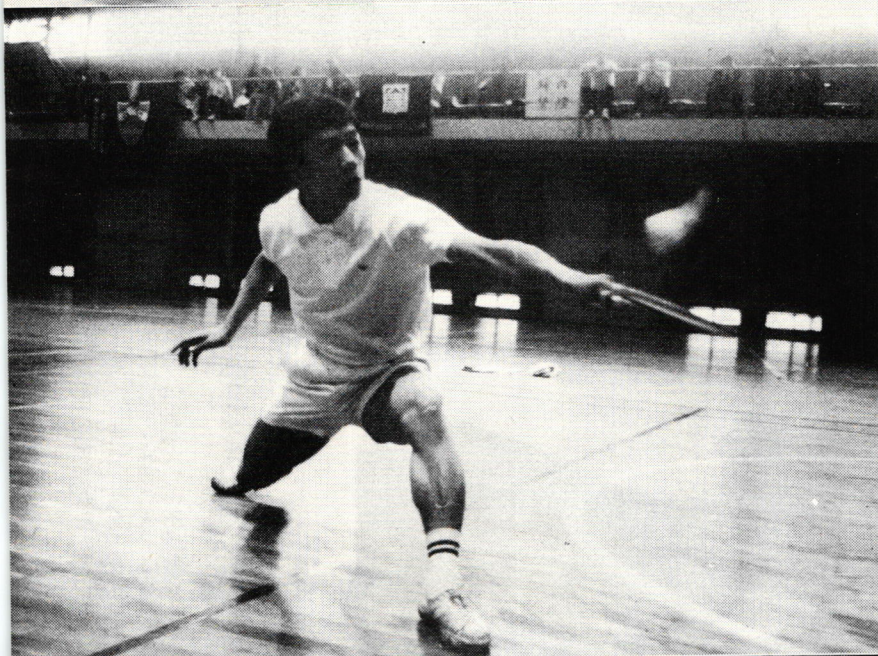
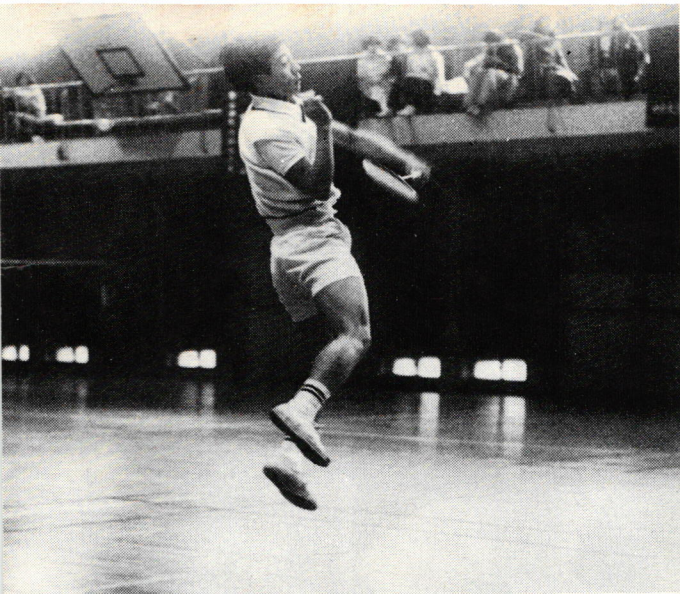


女王の座めざして
全日本学生の熱戦から



女王の座めざして——湯木（日女体大）竹中（新潟青陵短大）の二人は、ユ
ーバー杯女子世界選手権で、三連覇めざす日本にとって、欠かせない存在だ。
この二人、この写真の全日本学生に続いて全日本総合でも、決勝を争い、湯
木にがい歌があがったが、日本バドミントン界にとっては、二人が甲乙つけが
たく成長してくれることを願っているのだ。
パワーは男子なみ？との評判もあり、これに『経験』という、奥深く味わい
に富む、なにかを一日も早く、身につけてほしいもの。





エースへの挑戦

全日本学生選手権（インカレ）の男子シングルス決勝は、本間、今泉という中大三年の「同士打ち」。

実力からいって、一步先んじている本間に對し、今泉はけんめいに挑戦、抵抗したがストレートで、やはり本間にがい歌があがった。

しかし、今泉のプレーについては、ねばっ

こくて、まったくやりにくい、と選手仲間の評判。本間にくらべて、身長にも恵まれないというハンデはあるが「この一球を大切に」する試合ぶりは、大いにほめられている。

まずは本間（右上）に挑む今泉のプレー三態を、とくとごらんあれ。

理事長対談…④

あつと驚く老化現象

〈運動不足〉大人より固い二、三歳児

日本体操協会指導部
日体大助教授

池田敬子氏

(健康体操教室主宰)



ききて……川端昇市

池田 たとえば、こういう瞬間的ポーズの美しさね(バドミントン界のグラフィ写真を見ながら)外国選手は、どんな競技でもサマになっているでしょう。それがネ、日本人は歩きかたひとつにしても、どうにも……
川端 力強さはあっても、美的なものに対する感覚が不足している。表情ひとつにしても、国民性のちがいですかねえ。
池田 私、いま子どもの体操を手がけていますけど、あつとおどろくことがあるんですよ、

幼稚園前の年令で、すでに私たちより、からだ固い。

二、三歳のころに、母親が危ないからって運動させないことが原因なんですよ。こんなままじゃ、日本の将来どうなるかと悲観しちゃいますよ。

コート以前が問題

川端 やっぱ小さいときからの、ふだんの訓練、これがあとになって、大きな影響力を持つてきますね。

池田 プロ野球の金田が三十の半ばをすぎても選手として通用しているのは、ふだんの努力があるからです。大相撲の大鵬、あれは柔軟な身体がモノになっている。

卒直にいつて、二十歳すぎた選手が、年に何回かの合宿に来て、柔軟運動をやっても、意味がないんです。いま以上、やわらかくならない。単なる、からだならしです。

川端 だから、コートやグラウンドにはいるまでに、何をやってきたかが、勝負という……

1センチが致命制す

池田 そう、マツチ棒一本、拾い上げることで目的と意味をつかんでいけば、トレーニングになるんです。三、四歳ごろすでに、からだづくりを本格的にやらせなければネ。

からだはヨコに1センチまがるのが足りなかったばかりに、大試合でチャンピオン・シップを失う、ということがあり得ますから。

川端 一流になるには、それ相応の厳しい訓練が必要だと思います。池田さんは、万能選手だったと聞いていますが。

池田 当時の日体大、女子が十数人しかいなかったから、何にでもかり出されて、バドミントンもかなりやりましたよ。そこでネットぎわのプレー、バレーなんかもそうですが、これは前へ動くエネルギーを、瞬間的に上への動きに変えるわけで、体操の跳馬と同じ。これにヒントを得て、バレーボールのネット・プレーの練習法を考案してやったことがあります。

この、きびしさという点ですけど、バドミントンはどうやっていくか知りませんが、たとえば、カベにシャトル・コックの大きさの円をえがいて、これに百発百中する、これが一流であり専門家の技術だと思っんです

レベルをさげるな

川端 バドミントンは一ゲーム15点(シングルス女子11点)ですが、これを、中学生は体力がないから、ポイントを半分にしたら、などという意見もあるんですが。

池田 遊びなら別。でも競技者をつくっていくのなら、それはダメですね。規格や基準を下げてはいけません。あくまで本物の中にぶち込んで鍛えるべきだと思っんです。

バドミントンは羽根つきで、振り袖着たり、ドテラ姿でもやれる、というレベルで普及させたいわけせんね。

川端 しかし、コートにもいろいろあって、考え方もさまざま。私どもの方では、まだ絶対的な統一指導原理が確立されていないんです。

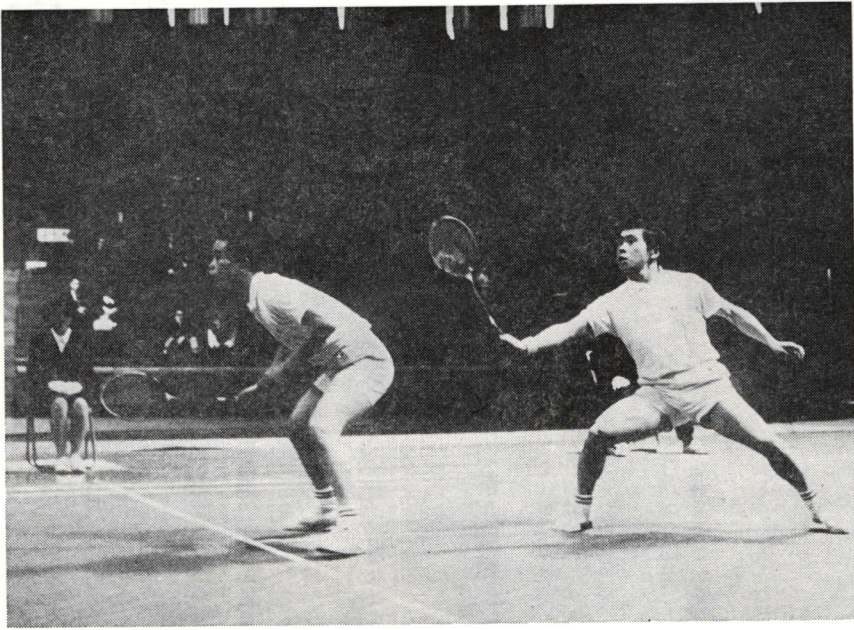
池田 意見は統一されなくてかまわないと思っんです。それぞれが自分の考えにもとづいてきそい合う。役員は指導者の、指導者は選手の、個性や獨創性を殺してはダメですね。

いいコートとは、選手の個性をのびせる人、コート内では妥協せず、一步、外に出たら友人であり、肉親であるような存在だと思っんです。

〈全日本総合選手権大会〉

小島が堂々4連勝

シングルス 湯木は初栄冠



昭和四十四年度の全日本総合選手権大会は、十二月一日から六日まで（五日は休み）東京・国立代々木第二体育館で行なわれた。

各種公式大会のランキングによつて選抜された第一線のプレイヤーたちが、白熱した好試合を展開した結果、男子シングルスでは、第一人者の小島（ヨネヤマラケット）が学生選手権者の本間（中大）をくだして四連勝（大会史上初）を飾った。女子シングルスは湯木（日女

体大）が初優勝し、全英選手権、全日本学生と合わせ、本年、三つのビッグ・タイトルを手に入れた。ダブルスの男子は、秋山・小島組が優勝（三連勝）し、小島は三年連続の「二冠王」となつた。

同女子は新鋭ペアの相沢・竹中組（新潟青陵短大）がベテランをなぎ倒して二連勝、混合ダブルスは鈴木健・有木組（電大）が、同じく二年連続のタイトルリストとなった。

【お断り】記録詳報は次号に。各決勝評は時事通信・沼館義明

▼男子シングルス決勝

小島 9 | 15
ヨネヤマ 11 | 6 | 15
1本間 (中大)

▼同三位決定戦

西野 2 | 15 | 15
山紙店 (秋山紙店)

▼女子シングルス決勝

湯木 11 | 12 | 4 | 10
竹中 (新日女体大) 0 | 4 | 10
鴻青陵 (短大) 女

▼同三位決定戦

高橋 12 | 11 | 9
北辰電 2 11 | 4 | 11 | 9
1 高木 (東海女大) 短大教

【評】男子シングルスは小島の四連勝に終わったが、ホープ本間の善戦が光った。

第一ゲームは、本間の作戦勝ち。長いリーチ、早い足を生かして粘り抜き、小島にネット際のミスを連発させた。だが、第二ゲームに入るや小島は、強烈なスマッシュを武器に速攻をかけ、本間に守るスキを与えず、タイに持ち込んだ。

第三ゲームは、本間が果敢な

攻めに転じ7-4と優位に立った。しかし本間は次の絶好球をあせてネット、与えずもながらの点を与え、局面は一転してしまった。老練小島は、この機を逃さず攻めまくり、気落ちした本間のエラーもあって連続8ポイントをあげ勝負を決めた。本間にとっては痛恨のネットだったが、最後まで試合を捨てず11-12と1点差まで追いあげた、しんしな試合態度は、いかにも学生チャンピオンらしく清々しかった。

女子シングルスは湯木のキャリア勝ち。

第一ゲーム、調子が出ない湯木は、なんでもない球をネットしてたちまち4-10の劣勢に追い込まれたが、こでぐっと踏み止まり、じりじりと挽回、逆に12-10でセットを奪い、勢いに乗って第二ゲームは一方的に試合を運んだ。湯木に全英、インカレ優勝の自信からの落ち着きがあったのに対し、竹中にはあと一本がなかった。

複 小島組3連勝、女子は相沢組が連続

▼男子ダブルス決勝

小島 秋	15	10	15
山(ヨネ) 秋	11	11	15
山紙店)	1	1	1
堀(カワ)	1	1	1
サキ、法			

▼同三位決定戦

西野、本	15	15	9
間(ニシ) 2	8	3	15
ヤ、中大)	1	1	1
森、池田			

▼女子ダブルス決勝

相沢、竹	15	15	11
中(新) 鴻	8	3	15
青陵女短	1	1	1
高木、天			

▼同三位決定戦

湯木、本	15	15	13
間(日女) 2	5	3	15
体大)	1	1	1
高橋、水			

【評】男子ダブルスはト杯候補ペアの対決だったが、息の合った秋山・小島組が順当に勝った。第一ゲームは秋山組のスマツ

シユが面白いように決まり15-1と一方的。第二ゲームに入り堀・梅野尾組もようやく本来の

観 戦 記

報知新聞 吉広紀代子

ことし六月、ユーバー杯を二連勝で飾った女子と、来年早々トマス杯アジア地区予選を控えている男子。日頃は女性上位といわれるバドミントンも、こ

としの大会ばかりはタイミングからして男子の試合に激戦がくり広げられ、世界チャンピオン女子の影も少しは薄くなるのではと期待していたが、フタをあけてみると女子の方が全般的にやはり充実していた。

男女の種目があり、国際的に女子が上位にランクされている

競技でも、実際、見ておもしろいのは、力とスピードのある男子。女子はどうしても非力さがぬぐえず迫力に欠けるというのが普通であるが、バドミントンばかりは女子に好試合が多く、世界選手権後のたるみがなかった。

中心となったのは湯木だった。夏以来体重が5キ減って55キになったそうで、以前はコートに立っただけで感じられた迫力が遠のいたが、代わって、動きが軽妙でスピード感にあふれていた。準決勝でベテラン高木、決勝で新鋭竹中と対戦、いずれも逆転勝ちという見事な初優勝だった。あえて不安をあければ、攻撃型のもろさというかスター

力を示し試合らしくなった。堀がうまくタマを作り、長身梅野尾が決めるという理想的な試合運びで、このゲームをものにした。しかし実力に勝る秋山組は第三ゲームは常に先行、危げなく堀組を振り切った。

女子は、相沢・竹中の若い力が、高木・天野のワザを制し、新旧交代を強く印象づけた。第一ゲーム、高木組のうまい

ト、エラーが出ていたのが気になった。

今井監督の話では肩を痛めているので今回はスロー・スタターになってしまったということだった。湯木はこれで世界の団体、個人、日本と三タイトルを独占したが、第二のジュディ・ハッシュマン(アメリカ)という国際的評価どおり今後の活躍に期待したい。

男子のシングルは小島の四連勝に終わったが、小島を破る選手がことしも台頭しなかったことは、小島の偉大さよりも他の選手のふがいなさといえる。小島は日頃から選手生活に徹底その節制ぶりは評判高いが、1

材60の小兵。小さなチャンピ

タマ回しにしてやられた相沢組だが、第二、第三ゲームは、持ち前のスピードとパワーで完全に高木組を圧倒、鮮やかに逆転勝ちした。竹中の重いスマッシュ相沢の俊敏なラケットさばき、加えて息の合った動きは昨年にくらべ一段とみがかかっていた。苦言を呈せば世界を目指すには、チャンス・ボールのミスをなくすことが肝要だろう。

▼混合ダブルス決勝

鈴木健、	18	15	9
有木(電) 2	17	7	15
タ東京)	1	1	1
安沢、金			

オンが四年間も続くことは日本の男子の選手養成に問題があるのでは。小島の対抗、秋山は練習不足、本間は勝負に甘くまだ経験不足とあってはトマス杯地区決勝で強敵インドネシア対タイの勝者を迎え打つだけに不安がかくせない。小宮監督は「あと二カ月あれば何とかなる」といつていたが。

試合から離れて大会を振り返ると最終日の六日の観客が約千人で一日から四日までは零に等しいという淋しさだった。カーテンで陽をさえぎった会場はまるでお通夜、役員は坊主になつてお経でもあげればと悪口をいいたかった。試合の時間割の

まずさ、宣伝不足。

▼同三位決定戦

杉田夫妻	15	15	9
(立野) 高	10	3	15
教、コロ	1	1	1
森谷、田			

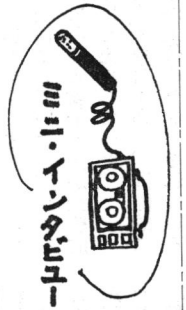
【評】混合ダブルスは鈴木・有田組が逆転で二連勝を飾った。第一ゲームを落した鈴木組だが、第二ゲームから当りが出て

タイ、第三ゲームも有利に試合を進めた。しかし安沢・金子組も劣勢を挽回13オールのセットリング。このあと息ずまるような攻防が続けられたが、最後に安沢がネットして、熱戦は終った。

協会のいい分としては国立競技場労組がストライキ突入の予定で直前まで会場確保が難しかったためPRもできなかったということだが、同労組の嵯峨委員長の話では理事者側が勝手にストライキを予測して協会に伝えたことだという。協会首脳部はことし一月の改選、初めて

の大会で不慣れな点もあったということだが、見せられる試合を協会役員の努力不足で少数の人しか見せないまま終わったということは大いに反省されるべきだ。

ことは久しぶりに第一日から最終日まで十分競技を観戦できた。協会役員より熱心に観た私のやぶにらみ観戦記である。



《選手の声》

全日本総合選手権から

(ききて 秦 浩)

しんどい試合だった

男子シングルス優勝の小島一平君「いやあ、しんどい試合でした。サイドによって極端に照明の具合が悪く、やりにくいコートでした。またコートに風が流れているので、ネットも、サイドによってはいらす、苦勞しました。」

最後には本当に足がツルのはと思うくらいバテていたのですが、本間が前半の打ちすぎで先にバテていたのに救われたようなもの。第三ゲーム、12-11で、もし追いつかれていたらボクの方が負けていたでしょうきつと……。

本間が打たずに、つないできたら、ボクの方が先にバテたでしょうね。それが出来なかつたところが彼のまだ若さなんでしょう。そして、それが自分というもおかしいが、キャリアの差でしょうね。」

せっぽり

あせっちゃって

同決勝で惜敗した本間順次君

「敗因ですか？ やっぱり精神的に、まだダメなんですね。リードしていても決して余裕を持つどころか逆にアセっちゃって常に圧迫を受けているような感じでした。」

一本、一本、慎重に

混合ダブルス優勝の有木とみ子さん(パートナー鈴木健次君)「社会人、実業団の各大会で敗れていましたので、この大会だ

レシーブを反撃の糸口に

女子ダブルス優勝の相沢マチ

子、竹中悦子さん「大会中の高木先生たちの試合ぶりを見ていて勝てるという確信はあった。ただ、一ゲーム目はコンビネーションがまずく、二人がぶつかってしまいう場面があり、とられてしまったが、二ゲーム目は自分たちのリズムをとりもどし相手を奥へつめ、押して押しまくることに集中し、どうやらうまくいった。」

けは是が非でも勝ちたかつたんです。パートナーの鈴木さんも練習のときから意気込みがちがつてました。

対戦した安沢・太田組とは過去に何回かやっているので、戦術も立てやすく、バックで勝負するといつも負けているのでネットでの勝負を心掛けました。また早いペースは相手に有利なので、一本、一本、ゆっくり慎重にやることが勝因だったと思います。」

いままで、とかく私たちのダブルスは攻撃型で、守りにまわるとモロかつたので、練習のときでもレシーブを攻撃に切り返すことを徹底的に心がけ、それができるようになってからは、プレーにも、かなり余裕が持てるようになった。ともかく今大会は、リズムに乗ってプレーするという目標にしています。」



広田副会長が 横浜文化賞を受賞

日本バドミントン協会の副会長・広田兼敏氏(古)が、さる十一月十四日、晴れの横浜文化賞を受けた。

神奈川県では、さきに小島一平選手が「文化の日」に神奈川県スポーツ賞の栄に浴しておりバドミントン競技界の発展のために、大いに喜ばしい。

広田氏は現在、横浜YMCAの名譽主事。わが国バドミントン界の草分けだが、バドミントンばかりでなく、バスケット、バレー、フエンスング、デンマーク体操など、室内スポーツを幅広く手がけ、紹介したほか、キャンプ、フォークダンス、スキーなどのパイオニアとしても

【御 礼】

全日本総合選手権の開催に当たり、株式会社ヨネヤマラケット、株式会社諸江製作所(サンバタ)両社から大会使用シャトルのご寄贈をいただきました。また、日本バドミントン・インダストリー株式会社(NBI)トヨダ・スポーツ、日本カアールトン株式会社、有限会社ジャワ

知られている。

高橋嬢、引退か？

四十三年度の全日本選手権女子シングルス優勝者の高橋とも子さん(北辰電機)に引退のうわさが出ている。

高橋さんはさきごろの全日本ではベテラン高木選手を破って第三位を確保したが、以前から右手首の故障に悩まされており会心のプレーができなかつたという。軟骨が変形したため、手首をまげると、とても痛むとのこと。

ご当人は「アマチュアだから引退なんてことばはない」とサラリ受け流しているが、故障のいかんと、社業などの関係から、いわゆる第一線競技界から退く可能性が強そう。

目下、専門医の診断を受けているが、日本にとっては、かけがえのない選手、故障が回復することを祈ろう。

商会の四社からは大会賛助金のご寄付をいただきました。

おかげさまでございました。大会は多大の競技的収獲を得、無事終了することができました。ここに報告申し上げます。ともに、厚く御礼申し上げます。

日本バドミントン協会

理事長 川端昇市

備えは鉄壁、近づくト杯の決戦

特集

◇◇◇

ト杯の決戦が近づいた。

第八回トマス・カップのアジア・ゾーン予選は順調に進み、日本は二月に、インドネシア対タイの勝者とインスター・ゾーン進出をかけて、決勝を争うことになった。

日本の相手はインドネシアの可能性が強く、小宮監督以下の代表候補チームも、当初からこのことを予想、強化合宿を重ねてきた。

日本はさきに女子の世界選手権ユーバー杯に二連勝を飾り、スポーツ界の一角に確固たる地位を築きあげた。

出遅れたとはいえ、今度は男子が、がんばり、王座をめざす番である。

宿願達成の第一関門が、このインドネシア戦。酷暑のおり、日夜、必勝の意気にもえてがんばる選手団に、拍手を贈り、健闘に期待しよう。

◇◇◇

インドネシア戦を前に

〈手記〉

監督 小宮 淳宏

現在日本が置かれている立場で決まっていることは、アジア予選の決勝をタイ・インドネシアの勝者と争うべきこと。それは明年三月末日迄になされる可能性が強く、見通しとしては

と。の二点だけであります。

情勢としては対戦相手の決定

や全英等の国際的大会を避ける

関係から二月中旬に行なわれる

可能性が強く、見通しとしては

インドネシアが相手に開催地は日本になる、と観測されます。日本バドミントン協会はその方向に積極的な努力を重ねており、そうなれば日本にとっては良いことだと思えます。

日本はいつトマス杯を手中に収めることが出来るか。早ければ第八回であり、それ以降は三年ごとに機会が得られます。いつになるにせよ近い将来に実現されることを天皇、皇后両陛下にわが本田会長が御約束申し上げたのであります。

トマス杯戦はすべて単5複4の9試合で行なわれ、一人のプレイヤーは最多で4試合に出場できるので、二人の強力メンバーのいるチームは単で4、複で2の6試合を勝つことが出来ます。

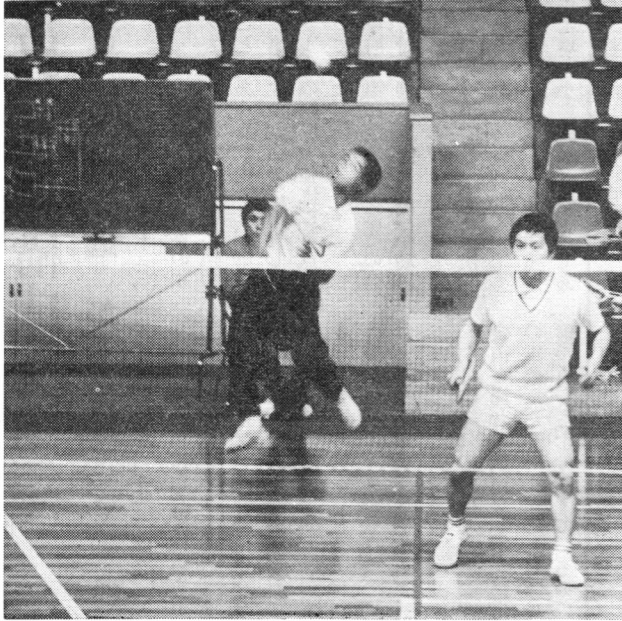
物理的にいえばこれがトマス杯をとるための要訣であるといえます。そこに選手層は大変に厚いけれども、社会的な制

約の中で究局を極め難い日本の実状が、問題点として指摘されるわけでありませう。

この現状については、日本はさし当たって三人のシングルのプレイヤーを育てること、一方には常時の努力を各国内大会で、混合を含めた複の試合の運営を重視する等によって、その競技レベルの向上にそそぐべきだと考えます。チームを編成することに監督が速成ペアの養成に頭を悩ますのが通例となっているのは、好ましくないことの一つだと思えます。

すでに五回にわたる強化合宿を消化しました。福井コーチと選手達はいろいろな条件の中で申し分なく立派に努力をしてきており、御家族や職場の方々のご理解に心から感謝を致し度き所存であります。

インドネシアは四十四年の全英において3単と1複を、それぞれベスト・フォアに進出させた強いチームであって、全く不足のない相手であります。「対等に勝負をつけよう」というのが私どもの合い言葉になりました。十二名の候補選手中、三名が身体故障、二名が周囲の事情で休場となりましたが、みんなこれから頑張るように、また全国の皆様の御理解と応援が得られますように望みます。



收穫、変化に富む複の構成

ト 杯合宿経過から

△コーチ▽ 福井正康

◆四十四年十月第四次合宿(甲府) 九月中旬の対香港戦は9-0と完勝したがこれはアジア・ゾーンの一回戦でありトマス杯チャレンジへの一過程にすぎない。目標はあくまでもインドネシアである。

甲府の第四次合宿ではその意味で対香港戦に起用した小島・西野組、堺・本間組を含めて、なおいくつかのダブルスが次々と登場した。

しかしダブルスの実績はさし

て持っているないので、日本のチャンスはまずダブルスに必勝することであろう。従って、第三次、第四次の合宿では一貫してダブルスの編成・強化に重点をおいてきた。

インドネシアは前チャンピオン国であり、今年の第五十九回全英選手権では単に一位、二位を占めその実力は高く評価しなければならぬ。

甲府の第四次合宿ではその意味で対香港戦に起用した小島・西野組、堺・本間組を含めて、なおいくつかのダブルスが次々と登場した。

更には、秋山・小島組、小島・本間組、更に堺・小島組などがそれぞれである。

全日本総合の直前でありこの合宿と総合の成績が、選手選考の重要なポイントであることは選手自身も十分知っているの

マスコ杯出場

▼秋山夏男 昭昭和十八年八月八日生、中大出、秋山紙店、四十三年度全日本総合単5位、複1位、同シンガポール・オープン選手権複3位、同全米選手権単2位、第七回トマス杯出場

▼関 一誠 昭昭和二十一年三月二十五日生、早大出、早大体育局、四十三年度全日本総合単10位、複4位、第七回教職員単3位、複3位

▼西野 一征 昭昭和二十年二月十九日生、中大出、ニシヤ洋品店、四十三年度全日本総合単7位、複4位、第五回マレーシア・オープン複2位

▼伊藤喜和 昭昭和二十一年九月二十六日生、日大出、四十三年度全日本総合単6位、複5位、四十三年度全日本学生単3位、複3位

▼森 芳夫 昭昭和二十一年八月二十七日生、奈良高出、法政

▼池田信孝 昭昭和二十二年三月三日生、富山商出、法政大四年、四十三年度全日本総合複2位、四十三年度全日本学生単7位、複1位

▼堀 幸矩 昭昭和二十二年七月四日生、岐阜工業出、立教大四年、四十三年度全日本総合単4位、複7位、同全日本学生単5位、複4位、第二回アジア選手権出場

▼本間順次 昭昭和二十三年六月十五日生、新潟商出、中央大三年、四十三年度全日本総合単2位、複3位、同全日本学生単1位、複1位、第四回国際学生単2位、複1位、四十四年度全日本学生単1位、複2位

▼梅野尾昌一 昭昭和二十二年

の出るような申し合いというものだろう。

秋山・小島組は総合三連覇を狙うだけあり、その試合ぶりは一分のすきもない。西野・本間組は学生時代インカレ優勝の実績を持ち、キャリアは十分。更に今回、初登場の堺・梅野尾組は堺の好リードで一日ごとに強さが加わるという現状で、現在の三チームが三つどもえの熱戦を展開している。参加の遅れている森が後半合宿入りをするば当然、森・池田組が四強の一角として注目されるだろう。今次合宿の成果は全日本総合の成績で判断していただきたい。

昭和四十四年十一月二十四日記

代表候補名簿

◎◎◎◎

【監督】小宮淳宏(協会副理事長、慶大出)

【コーチ】福井正康(協会委員、早大出)

【選手】▼堺 栄一 昭昭和四十四年十一月二十二日生、早大出、河崎ラケット、四十三年度全日本総合単9位、複6位、同オーストラリア選手権複3位、同全米選手権複2位、同ベルギー招待選手権単1位、複1位、第六回トマス杯出場

▼秋山夏男 昭昭和十八年八月八日生、中大出、秋山紙店、四十三年度全日本総合単5位、複1位、同シンガポール・オープン選手権複3位、同全米選手権単2位、第七回トマス杯出場

▼関 一誠 昭昭和二十一年三月二十五日生、早大出、早大体育局、四十三年度全日本総合単10位、複4位、第七回教職員単3位、複3位

▼西野 一征 昭昭和二十年二月十九日生、中大出、ニシヤ洋品店、四十三年度全日本総合単7位、複4位、第五回マレーシア・オープン複2位

▼伊藤喜和 昭昭和二十一年九月二十六日生、日大出、四十三年度全日本総合単6位、複5位、四十三年度全日本学生単3位、複3位

▼森 芳夫 昭昭和二十一年八月二十七日生、奈良高出、法政

▼池田信孝 昭昭和二十二年三月三日生、富山商出、法政大四年、四十三年度全日本総合複2位、四十三年度全日本学生単7位、複1位

▼堀 幸矩 昭昭和二十二年七月四日生、岐阜工業出、立教大四年、四十三年度全日本総合単4位、複7位、同全日本学生単5位、複4位、第二回アジア選手権出場

▼本間順次 昭昭和二十三年六月十五日生、新潟商出、中央大三年、四十三年度全日本総合単2位、複3位、同全日本学生単1位、複1位、第四回国際学生単2位、複1位、四十四年度全日本学生単1位、複2位

▼梅野尾昌一 昭昭和二十二年

先輩からの激励

奇蹟と幸運はない

角田 賢三

トマス杯が始まるたび、初参加の思い出が浮かんでくる。先般は、このとき対戦して敗れた香港に文句のない完勝。このニュースを聞いたときは、溜飲が下がる思いだった。女子はすでに二回優勝、男子の奮起を切望したい。

二月のゾーン決勝には堂々と勝ち、さらに進んで、ト杯そのものをも、手中におさめてほしいものだ。

スポーツの世界では優勝して初めて大きな顔ができる。私が

日本の歴代参加史

▼第三回(54年)初参加。アジア予選準決勝に出場、香港に6-4で敗退。

▼第四回(57年)アジア予選一回戦、セイロンに9-0と完勝、二回戦(タイ)は費用の点で棄権。帰途の香港との親善試合には7-1で勝つ。

▼第五回(60年)豪亜ゾーンに申し込んだが棄権。

学生に口ぐせのようにいっていることば、それは

「試合には奇蹟と幸運はなく実力がすべて。実力は人間能力のギリギリの線までの壮烈な練習によって生れる。戦う以上はなにがなんでも勝て」
健闘を祈っています。

(角田氏は日本協会参与、日本が初参加した第三回大会の監督をつとめた)

多かった初参加の教訓

川口 清

日本が初めてトマス杯に参加したのは、一九五四年、いまの若手代表が小学生になったぐら

▼第六回(63年)アメリカ・ゾーンに参加。メキシコに9-0、カナダに8-1、米国に7-0で勝ってインター・ゾーンへ出場したが、一回戦でタイに敗れた。

▼第七回(66年)ふたたび豪亜ゾーンに出場、ニュージーランドに9-0、豪州にも9-0で勝って、インターゾーンへ。インターゾーンでは、米国をくだしたが、決勝でマレーシアに負け、チャレンジ・ラウンド進出の夢が敗れた。

いのむかしだった。残念ながら敗戦には終わったが、学ぶべきことは、きわめて多かった。

私は、土佐の野中集の故事を思い出し、なげなしのドルをはたいて、バドミントンの参考書や用具を出来るだけ多く求め、帰国した。

あれから十五年、バドミントン競技の、わが国における地位も、ずいぶん変わった。

私は仕事の都合上、バドミントンから離れたが、最近技術も随分、進歩し、競技の普及もめざましいように思う。

第八回大会の決戦も目前とのこと、こんなうれしいことはない。現役諸兄の努力に感謝し、かげながら声援を送りたい。

(川口氏は日本が初参加した第三回大会のコーチをつとめた)

▼第八回(69年)アジア・ゾーンに出場、東地区決勝(ゾーン準決勝)で香港に9-0で完勝。

【歴代選手権国】

- ① 48-49年 マラヤ
- ② 51-52年 マラヤ
- ③ 54-55年 マラヤ
- ④ 57-58年 インドネシア
- ⑤ 60-61年 インドネシア
- ⑥ 63-64年 インドネシア
- ⑦ 66-67年 マレーシア
- ⑧ 69-70年 ?

N. B. I. の C. M. BRAND



バドミントンの気品
CMの風格

!!ご存じですか!!

- ★ 我国でシャトルコック製法を一番先に機械化して水鳥シヤトルを普及したのはCMです。
- ★ N. B. I. はバドミントン普及発展のために製造から直売システムです。
- ★ 現金でお申込になれば卸価格でお求め出来ます。

日本バドミントンインタストリ株式会社
東京都三鷹市井ノ頭 4-8-7 TEL 0422 (47) 3331(代)-3

女子バドミントン選手の総合体力について、の調査研究が、このほど発表された。

これは新潟大学医学部の滝沢行雄助教授らが、新潟市教育委員会、同市体協、トレーニング・センターの協力を得て、さる四十三年四月から六月の間、三日間にわたって実施したものである。

検査対象者は後藤（新潟電々22歳）相沢、竹中（新潟青陵短大一年、18歳）堀川、大竹（新潟青陵高三年、17歳）のいずれも当時Ⅱの新潟在住者。顔ぶれは、現在の時点で考えても、まず文句ない一線級の中のサンプルといえる。

検査は、体位（形態）機能（握力、心肺）運動能力にわたった。サンプルの数が少ないため、この調査をもって、日本女子選手一般の総合体力について論ずることは危険であるが、対象選手の特性と、一流である秘密が結果的にはっきり現われており、興味深い。

本誌では、新潟大教育学部・市島智三郎氏をわずらわし、一冊にまとめられた報告パンフレットを入手したので、ここに、要旨を紹介することにした。

バドミントン選手についてのこの種の研究資料は、日本でも極めて少ない。これが関係者各位の参考になれば幸いである。

女子第一線選手の総合体力について 新潟大学らの研究調査から

さすがはすぐれた背筋力

1. 形態についての考察

人は脂肪ぶとりではなく、すぐれた筋肉質のためであろう。

竹中はバランスがとれ、相沢はやせ型になるが、相沢の場合、後に出てくる理由が、彼女を支えていることがわかる。

胸囲は平常時、最大吸気時、最大呼出時を測定した。この呼吸の幅は後藤、堀川がわずか3才台なのに（対象被検者の石山Ⅱ22才、新潟市教委Ⅱでさえ3・6才）竹中が9・8才と約3倍、相沢も平常時の胸囲80・4才は同一年令の女性平均（81・7）より低く、やせ型を裏付けているが、呼吸の幅が7・2才とやはり大きい。この理由は、肺活量のところで説明する。

指極は左右に手をのびした長さがこれ。被検者の選手はすべて身長より長い。対象被検者の石山（身長154.1、指極149.5）と比較するとよい。

このリーチの長いことが競技

速報

表1) 形態(体位)

		後藤(22才)	相沢(18才)	竹中(18才)	堀川(17才)
身長 cm	計測計	152.1	163.9	163.4	161.6
	同年平均		154.1	154.1	155.0
体重 kg	計測値	54.5	53.5	59.5	68.0
	同年平均		51.5	51.5	51.2
胸囲 cm	計測値	85.7	80.4	87.3	88.1
	同年平均	83.7	81.7	81.7	81.6
	最大吸息	87.8	83.2	93.0	90.1
	最大呼息	84.4	76.0	83.2	87.1
	差	3.4	7.2	9.8	3.0
指極 cm	計測値	154.5	164.2	165.2	167.2
	同年平均		152.3	152.3	152.0

に有利なことは当然。もう少しくわしくいうと、四人とも同年会女性平均より上。ただし、後藤はわずか平均より1・7才しか上でないが、相沢は11・9、竹中12・9、堀川にいたっては15・2才も大きい。

△結論▽形態上からいうと、被検者はいずれも常人よりはすぐれているが「なるほど国際レベル」といえるほどの目立った特色はなかった。

2・機能に

についての考察

ここでは握力、背筋力と呼吸機能について調査した。

△握力▽竹中の右、41・3キは

男子に比しても劣らぬほどで五段階評価の最高値5にはいる。他の選手も「4」で、女性としてはかなりレベルが高い。しかし後藤の36・0は対象被検者石山の37・5よりも低い。もっとも体操、野球、ハンマー投げなども握力が必要と思われる競技で、選手が、必ずしも大きい値を示さないことから考え「握ることそれ自体によって、握力が大とは結論づけられない」とレポーターはのべている。

△背筋力▽いずれも強い。と

くに竹中の151・2キは男子に匹敵する。背筋力が大きいものは意志力も強く、体力的にもすぐれている。ただし、後藤は体力表の段階では「5」ながら他の選手に比して低い。

△呼吸機能▽一般女性の肺活量は大体二千から三千cc。竹中が男子なみの四千台であることをはじめ、胸囲が小さい相沢も3270・4で、これがプレーを楽にさせている要因と考えられる。後藤は例によって低いが、それでも石山に比べ500ccも高い。

表2)機能関係

		後藤(22才)	相沢(18才)	竹中(18才)	堀川(17才)
握力 kg	右	36.0	38.5	41.3	37.5
	左	29.1	39.0	37.5	34.3
	平均	32.5	38.7	39.4	35.9
	同年平均	28.9	27.6	27.6	27.9
背筋力 kg	計測値	117.0	130.0	151.2	137.2
	同年平均	83.0	84.7	84.7	86.8
肺活量 c.c.	計測値	2866.4	3270.4	4032.0	3672.6
	同年平均	2027.0	1908.0	1908.0	1908.0

表3)柔軟、運動能力など

		後藤(22才)	相沢(18才)	竹中(18才)	堀川(17才)
体前屈 cm	計測値	19.3	12.1	20.1	19.7
	同年平均	16.3	17.1	17.1	17.8
体後反 cm	計測値	55.5	48.2	66.5	53.0
	同年平均	53.7	57.0	57.0	58.4
立幅跳 cm	計測値	179.5	188.5	192.8	188.5
	同年平均				177.8
垂直跳 cm	計測値	39.0	38.0	41.0	41.0
	同年平均	35.1	37.4	37.4	37.3
反復横跳 回数	計測値	39.	43.	39.	41.
	同年平均	33.5	35.4	35.4	35.5

意外にとぼしい柔軟性

ジャンプ力も不振

3・柔軟・運動能力・調整機能に

についての考察

△柔軟性▽相沢の身体の固さが最も目立った。石山の20・6、61・0キに比して、かなり悪く、さらに新潟市トレーニング・センターに通っている三十〜四十歳の主婦よりも固かった。

△運動能力▽柔軟性同様、予想を裏切る結果が出た。立幅とび、垂直とびとも、石山が185・5キ、36・5キであることと比較してほしい。(編集部注)ジャンプ力が必要とするバレーボールの女子選手は垂直とびで50〜70キ。

しかし、他の選手も必ずしもいい値であったとはいえぬ。競技そのものは、大いに柔軟性が必要と考えられるが、これは、たまたまトレーニングの中に柔軟的なものを入れなかったのか現在の競技水準では、また、それほど柔軟性を必要としない程

△調整▽反復横とびを検査した。五段階評価で相沢、堀川が「5」後藤は初めてだということで、予備テストを他の被検者の二倍くりかえした。ところがテストでは、どうしても足がつれてうまくできなかったのに本番では「ピタリとやりとげた。試合では平素の実力以上のものを出せるという、この選手の性格を暗示している。

後藤の秘密は驚異的な心臓に

4・心拍と心電図 についての考察

心拍数については、まず安静時の調査をし、準備運動後、約2分間の練習をした。ついでシングルルスで10分間、休息なしの試合形式の練習を行なった。表中、数字が欠けているのは、電極をつけ直したりしたためである。

ここで特長的なのは、後藤のケースである。ゲーム的練習開始後1分で、本人の最高心拍数に達し、以後、終了時まで不変である。これは心臓の働きがきわめて強いことを意味し、それはゲーム後1分半で心拍数が50近くも下がることでも理解される。別の見方をすれば、試合が始まるとすぐ、調子を出すことが出来て、それが最後まで崩れない。コート・チェンジやシャトル交換のような、わずかな休息状態でも、素早く疲労回復ができる、ということだ。

ここに、体位や運動能力で劣るはずの後藤が、一流の域を保った秘密がある。

他の三人は、いわゆる普通のタイプに属し、時間の経過とともに疲労が高まる傾向がみえている。体位、体力において、被

検者中、最高であった竹中の心拍数が一番高いのは、疲労度が一番高いことを示す。ゲーム終了後の回復は堀川が一番早い。

5・まとめの考察

以上でわかるように、体位や運動能力では、きわめて劣るはずの後藤が、世界一流の域にある秘密は、前項、心臓の強さに

あり、これと天性の勝負強さ、気の強さ、それを支える練習熱心さなどが混合しているものと推察できる。

相沢は体位、運動能力で、やはりよくないが、呼吸の幅が大きいことがプラス要因で、心拍数からみても、後藤のように比較的早く調子が出る型と思われるが、プレー中の疲労がやや目立つ。

竹中は体位、運動能力ともに女性としてはかなりすぐれ、被検者の中でも総合的に一番いいが、ラジオ・テレメーターによれば、立ち上がりややおそく疲労の度が、前の二人より大きい。

堀川は竹中に似た体力を持っており、しかも疲労後の回復力が大きいことに特色がある。全員を通じ、指極、肺活量、

背筋力、心臓などでは、一般人に比してはるかに優秀であるが逆に柔軟性に乏しく、基礎的運動能力がまだ弱い。

しかし、なにが優秀なバドミントン選手の標準であるかを判断するには、もっと多くのサンプルによる調査を行ない、他の競技と比較することが必要である。

表4(練習マッチでの心拍の変動)

	後藤(22才)	相沢(18才)	竹中(18才)	堀川(18才)	
安静時	66	62	69	62	
準備体操後		95	92	80	
軽打練習中		95	105	80	
練習マッチ中	2秒後サービス	130	128	115	95
	1分後	150	165	165	143
	1分30秒後	150	170	170	145
	2分後		175	175	160
	3分後	150	175	175	165
	4分後	150	175	180	165
	5分後		180	180	165
	6分後			180	170
	7分後	150		185	175
	8分後	150	185	190	175
終了後	最大増加数	20	57	75	88
	30秒後		165	168	140
	1分後		135	150	120
	1分30秒後	102	127	145	100
	2分後		120	120	95
	1万間減少数	48	50	40	55

◎被検者

- ▼後藤和子(第四、第五回ユバール杯代表、四十三年全日本三位、新潟電々)
- ▼相沢マチ子(第五回ユバール杯代表、四十三、四年全日本復優勝、新潟青陵短大)
- ▼竹中悦子(第五回ユバール杯代表)

◎調査研究報告者

- ▼新潟大医学部助教 滝沢

四十四年国際学生、全日本学生単優勝)

- ▼堀川栄美子(四十四年国際学生、関東大学新人戦単二位、日林大)

タ1 大西義男

- ▼新潟市教育委員会体育課長 藤田純二
- ▼新潟市教育委員会市民体育係長 佐藤 実
- ▼新潟市トレーニング・セン

東京が初の王座に

第18回全国青年大会

国体なみのスケール——第十八回全国青年大会が、十一月八日から十一日まで、東京各地で盛大に行なわれ、今回、初参加のバドミントン競技も、さっそうと活躍した。

この青年大会というのは、文部省、東京都教育委員会、日本青年団協議会の三者共催によるもので、いわば働く青年男女のレクリエーションの祭典。

それだけに、スケールは大きく、スポーツ競技のほか、音楽、演劇、美術展、生活文化展、郷土芸能、意見発表（一種の弁論大会）までふくまれる幅広さが特色。

開会式は、まったくの国体なみで、沖繩をふくむ全国四十七の地方代表、しめて六千五百三人。

開会式は国立競技場で行なわれ、県旗を先頭に、選手団が四写真説明・上・東京(向う側)

と福岡の決勝、混合複の熱戦
下・優勝した東京チーム、前列左から宮本、竹内、後列左から須田監督、名越主将、組村三鷹市協会長、楯選手

十分がかりで堂々の入場行進を行なった。ただ一つ、ちがったのは、スタンドに観客がいなかったことだけ。

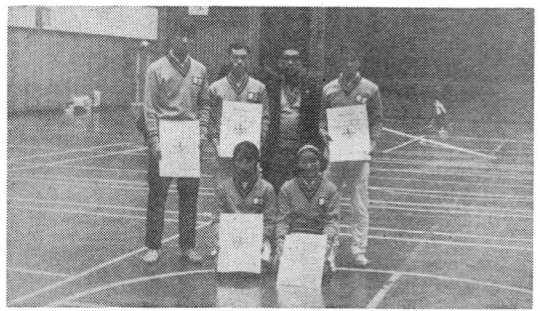
さて、バドミントン競技は、第二日の九日、東京・新宿体育館で行なわれた。

初登場の種目とあって、参加は十都県と、さびしかつたが、技術的には、かなり高度なテクニックが随所に見られ、フェイントも使うなどこの競技の、底

辺りの厚さを証明した。

国体など全国大会に出た選手は参加できず、また、一度この大会に出たものは、次の年には出られない、という厳しい制限つきは、まさに異色。

競技は各チーム男子単、混合複、女子単の三試合から成り、エントリーは一人一種目。東京が圧倒的に強く、決勝まですべての試合で一ゲームも落さず勝ち進み初代の栄冠を手にした。



(注) 記録は男子単、混合複、女子単の順序。混合複の名前は左側が女性。

○ 佐野 2 (1111 3 2) 0 海老沢	○ 望月 2 (1515 1110) 0 島崎野	滝 1 (13 6 15 17 15 5) 2 塩田 ○	静岡 2 1 茨城	○ 竹田 2 (1111 1 2) 0 宮島	○ 南島 2 (1515 12 18 3) 1 木安水田	○ 佐藤 0 (2 12 15 15) 2 大西 ○	福岡 2 1 愛知	▼二回戦	○ 井手 2 (1111 5 9) 0 安藤	○ 東川 2 (1515 4 9) 0 船越本	○ 森 2 (1515 1 8) 0 堀口	長崎 3 0 香川	○ 宮島 0 (0 1 11 11) 2 小林 ○	○ 木水 2 (1515 7 7) 0 亀田成	○ 安田 2 (1515 4 2) 0 八木	○ 大西 2 (1515 4 2) 0 八木	愛知 2 1 神奈川	▼一回戦	○ 名越 2 (1515 3 0) 0 栗本 ○	○ 竹内 2 (1515 4 7) 0 松上田島	○ 宮本 2 (1111 5 1) 0 高木	長崎 3 0 青森	○ 森 2 (1515 2 6) 0 清藤	○ 東川 2 (1512 9 15 7) 1 葛西黒	○ 井手 2 (1111 0 0) 0 佐藤	○ 東川 2 (1515 8 10) 0 滝	○ 佐藤 2 (1515 8 10) 0 滝	福岡 2 0 静岡	▼準決勝	○ 平南 2 (15 7 15 1 15 11) 1 望月野	○ 佐藤 2 (1515 8 10) 0 滝	○ 南島 2 (15 7 15 1 15 11) 1 望月野	○ 竹田 2 (1515 8 10) 0 滝	東京 2 0 長崎	○ 名越 2 (1515 0 0) 0 東川	○ 竹内 2 (1515 5 1) 0 井森	○ 宮本 2 (1515 5 1) 0 井森	▼決勝	東京 2 0 福岡	○ 名越 2 (1515 2 12) 0 佐藤	○ 竹内 2 (1515 6 3) 0 平島	○ 宮本 2 (1515 6 3) 0 平島	東京 2 0 福岡	○ 名越 2 (1515 2 12) 0 佐藤	○ 竹内 2 (1515 6 3) 0 平島	○ 宮本 2 (1515 6 3) 0 平島
---------------------------	----------------------------	--------------------------------	-------------	--------------------------	--------------------------------	------------------------------	-------------	------	--------------------------	---------------------------	-------------------------	-------------	-----------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------	------	----------------------------	----------------------------	--------------------------	-------------	-------------------------	------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------	------	----------------------------------	--------------------------	----------------------------------	--------------------------	-------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-----	-------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------

体力をつけましょう

幼少年編

④

伊藤基記

前号までは、バドミントンのコレーニングなどとなつて、は名選手になるためには少年時代から、ラケット遊びを楽しんでおいた方がよいということを書いてきました。しかし考えてみますと、ラケットを振り廻し、ハネを追いかけ廻してばかりいてよい選手になれるものではありません。

まず丈夫なからだ

中高校生になって、本格的にバドミントンの練習をしたり、試合にできるようになっても、いや試合にできるようにしたら、なおさらのこと、トレーニングといつて、いろいろの体力づくりをしているのを知っていますか。

毎号、私のこの記事の前に達井先生が、中高校生の体力づくりについて、表をかかて述べられているのを読んだ少年少女の皆さんもいるかも知れません。幼少年の頃には、これほど

げしい体力づくりにむきになる必要ありませんが、いろいろ楽しい運動遊びをしておいた方が、いざラケットを握つて、バドミントンのハネを打ちはじめたときに大変、進歩がはやいのです。

カケッコでがんばろう

まず第一にカケッコや鬼ごっこをどんどんすることです。運動会やクラスマッチがあったらそのとき、カケッコだけは負けないぞという心掛が大切です。短距離が強いということは、手足がすばやく動くということです。ですから、機敏な動作ができるという証拠です。長い距離が走れるということは、心臓が強い、スタミナがある証拠です。

その上、心が強い、少しぐらい苦しくてもガマンができるということですから、走るのが速い、速いから面白い、面白いから

ら走る。負けてもへこたれずにナニくそと走る：こんな少年少女はもうそれだけで、これから練習しただいでは素晴らしいバドミントンのプレーヤーになれることが約束されているようなものです。

たとえばバドミントンに進まなくても、どのスポーツに進むにしても、走る力はすべての基本です。勉強の上でも、仕事の上でも、全人生を通じて、この走る力、意志の力こそは大きな底力になってくれます。

少年少女時代にカケッコをしていて、ソンをした人は一人もおりません。どうも、この頃の少年少女はカケッコが足りません。一日に一回は、息がはずんで、胸がくるしくなるくらい鬼ごっこやカケッコ、陣取りをするようなお友達をつくって下さい。

近くの河原や、小山などで、坂道など、登りくだりしながらカケッコができるようであれば

大変、好つごうです。お父さんや、お兄さんなどといっしょに走ったり、タイムをはかってもらったら面白いと思います。

楽しいボール遊びも

次にボール遊びをどんどんやることです。ボール投げにスピードがある、コントロールがよい、捕えるのがうまいということとは、そのままバドミントンのストローク（特にフォアハンド・ストローク）に通用します。

肩や手首、ヒジの力の使い方に共通のものがあつますし、第一、空間を移動するものに対する反応が、非常に高められるということが、このボール遊びの大切な要素になっているからです。

学校ではお友達と、おうちにかえつても、お父さんやお兄さんと、どんどんキャッチ・ボールやドッチ・ボールをして遊んで下さい。

ウデの力は

けんすいデ

その次にはけんすいデです。けんすいとはバドミントンには関係がないように思いますが、これが、実は大変に大切む力なのです。

私は今まで、ずいぶんとたくさんの方の体力を測定してきました。その結果、バドミントンの名手はほとんど例外なく、素晴らしいけんすい力の持主であることがわかってきました。

強打の瞬間と、けんすいの瞬間の、ウデや、胸筋、腹筋の緊張状態はとも似ているのです。自分の体をウデの力で支えきれないような体力では、ラケットを自由自在に振り廻して強打することができないということです。それだからといって大車輪を廻れというわけではありません。

要するに、ウデで体重を支えることを多くすればよい。頭の高さにとびあがつたり、ぶらさがつて、振りとびをしたり、棒にのぼつたりして、技というよりも力をつける気持でよいと思います。

とにかく、学校の体育の時間に先生がいるの時間をやらして下さる時に、どんどん進んでやることです。そのうちには必ず走ること、ボール投げ、けんすいが充分にもりこまれていくはずですから。

筆者紹介 伊藤基記(五) 東京高師出、協会常務理事、同指導委員長、熊本女教授、第四回トマス杯日本チーム・コーチ

〈続〉 サービスの重要性

名選手の経験と名勝負から

上級編

④

毛利清志

前号では高木選手の全英においてのサービスの失敗談を紹介したが、今回も引き続き、シングルスについてのサービスを中心にした体験談や幾人かのトップ・プレーヤーの意見などを紹介してみたい。

堺栄一選手の話——堺選手は現在、トマス杯日本チームの主将であるが、トム代表にえらばれること3回目であり、その豊富な体験を生かしての頭惱のプレーは高く評価されている。

……昭和四十二年五月、マレーシア招待大会（イポー市）でインドネシアNO・2のムルヤディ選手と対戦するに当り、何とか一失をむくいんものと試合前に考え、すべてショート・サービスで、できるだけ長いラリーを避け、サービス後の4〜5球目には勝負する、いわば、奇襲作戦を展開することを決意した。

第1ゲーム、ショート・サービスをセンター・ライン寄りに

或いはサイド・ライン寄りに散らし、相手のリターンの甘くなつたところをすかさず得意のフエイントでかき混ぜ計画通りに試合をリードして押しきった。

失敗した作戦変更

第2ゲームも滑り出しよく前半リードをうばつたが、ムルヤディもさすがに世界的名手、次第にショート・サービスとフエイント戦法に慣れて点がとれなくなつてきた。そこで、ロング・ハイ・サービスやドライブ・サービスにきりかえて局面打開を計つたが、それが悪く、体力的にもバテ気味となり、相手を調子づかせてしまい遂に第2ゲームを落してしまつた。

第3ゲームに入り三度ショート・サービスでスタート、中盤までリードしたがそこでまた点をとれなくなり、ついつい、何とかしなければと気があせり、ロング・ハイ・サービスやドラ

イブ・サービスにきりかえてしまい、一気に引きはなされてしまった。

敗戦の跡を振り返ってみるとムルヤディとしては「ネパツているうちにいつかはロング・サービスがくるだろう」と、気長にそれを持っていたように思えた。徹頭徹徹ショート・サービスで戦えば何とか勝つことができたのでは、と思えるだけに、対戦前にせつかく立てた作戦で初志貫徹できなかった自分にガツクリした。と反省している。

さて、堺選手はどちらといえばダブルスにそのうま味を發揮する選手だといえる。それは、過去のトム杯やその他の国際試合で貴重な勝ち星を挙げていることや、国内での各種大会での戦績が示すとおりである。勿論シングルスも決して悪くはない。往々にして彼の老練さに苦汁をなめさせられる一流選手がいることも衆知のとおりである。しかし何分にも相手は世界的な

シングルスの名手である。そこで、まともに正面からぶつかることを避けるとともに、自己の得意とする戦法を駆使するために、既述の通り強気の作戦を立て、美事第1ゲーム先取に成功したのである。

あせりの因は

スタミナ？

にもかかわらず、作戦を変えて第2ゲームを落とし、同じ失敗を第3ゲームで繰り返してしまつた。なぜだろう？ 堺選手ともあろう者が!! 読者は恐らくそう思うに違いない。筆者も事実そう思ったが堺選手の手記を繰り返して読んでいるうちに一つの結論に達した。それは、スタミナの勝負だつた。

即ち、ネバリ抜くムルヤディに対し、点をとれなくなつても同一作戦でガツチリとネバリ返せる自信があればあせりも迷いも克服できたと思ふ筆者の考え方は間違つているだろうか。

一方からいえばスタミナに自信がないという心理的な弱味を含む作戦変更が敗因といえるように思うわけである。読者各位もよく似通つた体験をもっているはずだ。

相手の穴を徹底的に狙つて主導権を握り、ゲーム・ポイント

やマッチ・ポイントを掌中にしながら、相手にネバられてついつい作戦を変えたために追いつかれ、追いこされ、大事な試合を失うといったような例はよくある。スポーツの試合に勝つためには、体力、精神力、技術とそれぞれのバランスがとれていなければならないことはお互いによく解つていながらも自分のアン・バランスに気がつかなかつたり、或いは気がついていながらその養成を怠っている者が以外に多いのではなからうか。読者の皆さんは果してどうだろう。

ところで、ついでに堺選手の観戦記をご披露しよう。第五十五回全英選手権男子単決勝（一九六五年、ロンドン）、タン・アイク・ハン（マレーシア）対エール・ランド・コップス（デンマーク）。

完璧だった

サービス

……アイク・ハンのロング・ハイ・サービスが深い印象として残っている。高く、深く、本当に正確であり、横から見ると各種指導書に図示されている通りに、真上からバック・バウンドリー・ライン一杯に落下している。彼のプレーは、このサービ

昭和44年度

全日本総合バドミントン選手権大会

日 時 12月1～6日

場 所 東京・代々木第2体育館

試 合 時 間 表

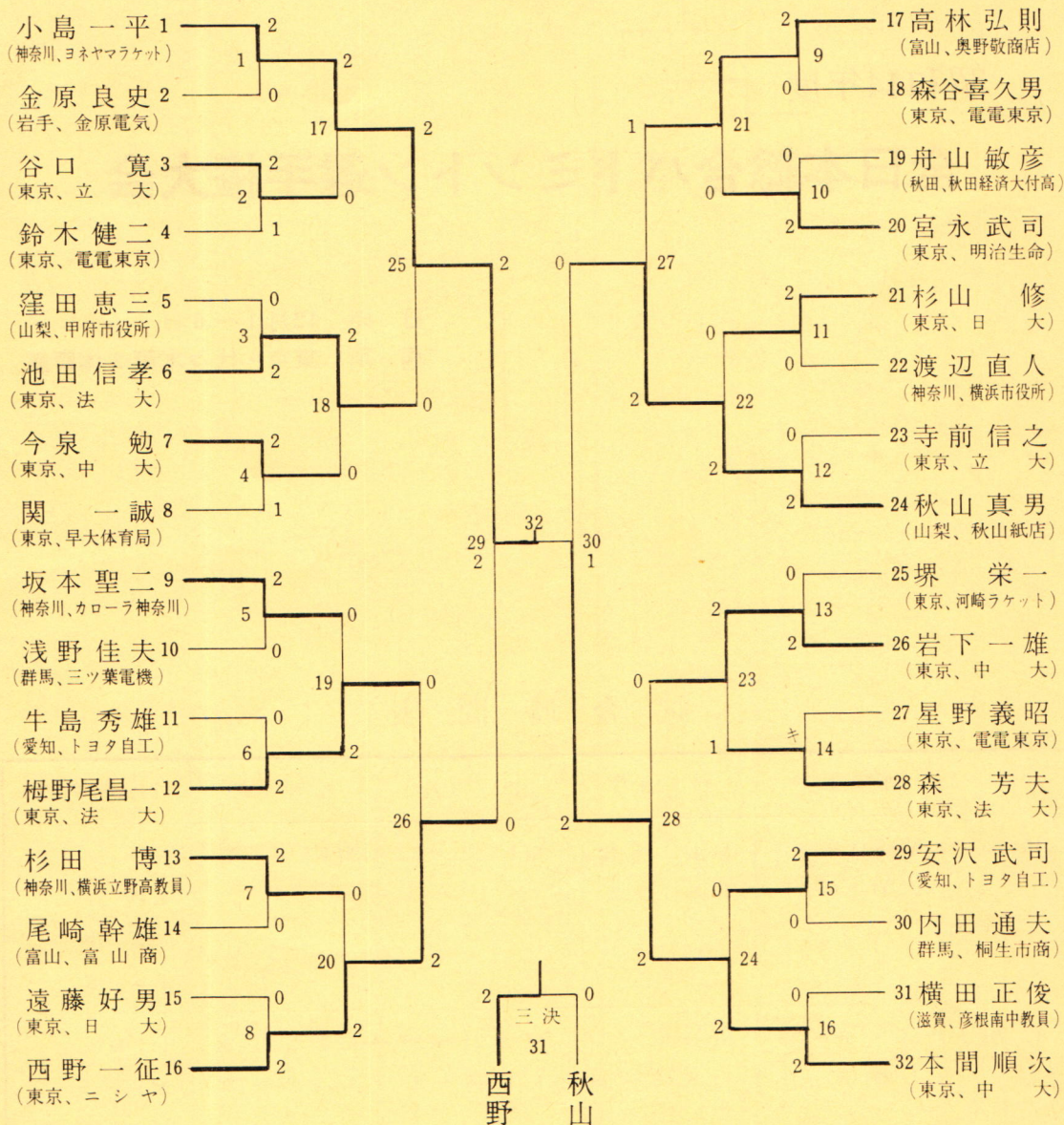
	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日	12月6日
10:00	MS 1～8 LD 1～9	MD 1～12 LS 1～2	MIX 2～5	MIX 6～7	MD 27 LD 24 MS 31 LS 33
13:00	MS 9～16 LD 10～17	MD 13～20 LS 3～18	MS 25～28 LD 18～21	MD 21～24 LS 27～30	14:00 MIX 9 MD 28
17:00	MS 17～24	MIX 1 LS 19～26	MS 29～30 LD 22～23	MIX 8 MD 25～26 LS 31～32	LD 25 MS 32 LS 34

MS—男子シングルス
LD—女子ダブルス

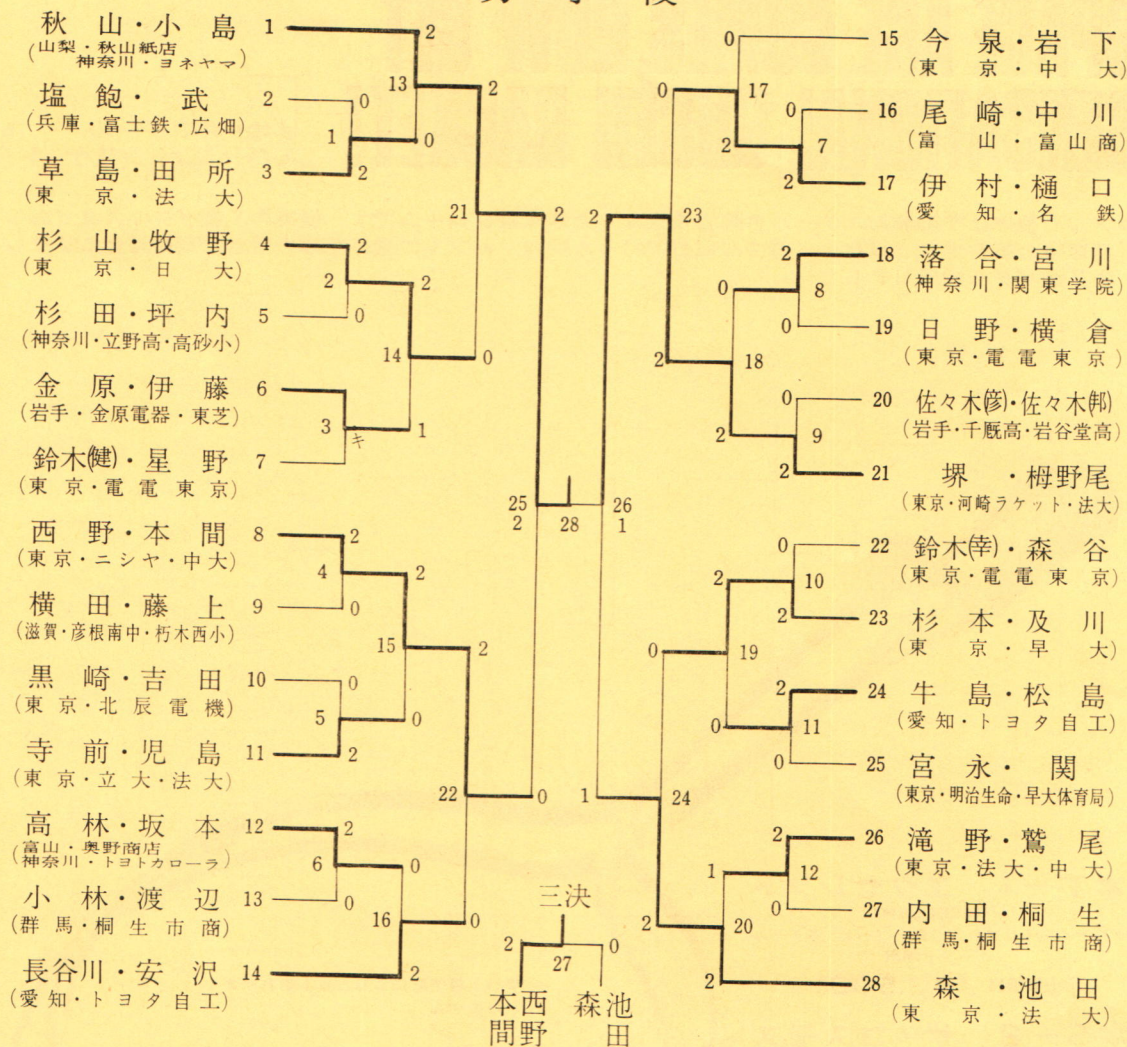
LS—女子シングルス
MIX—混合ダブルス

MD—男子ダブルス

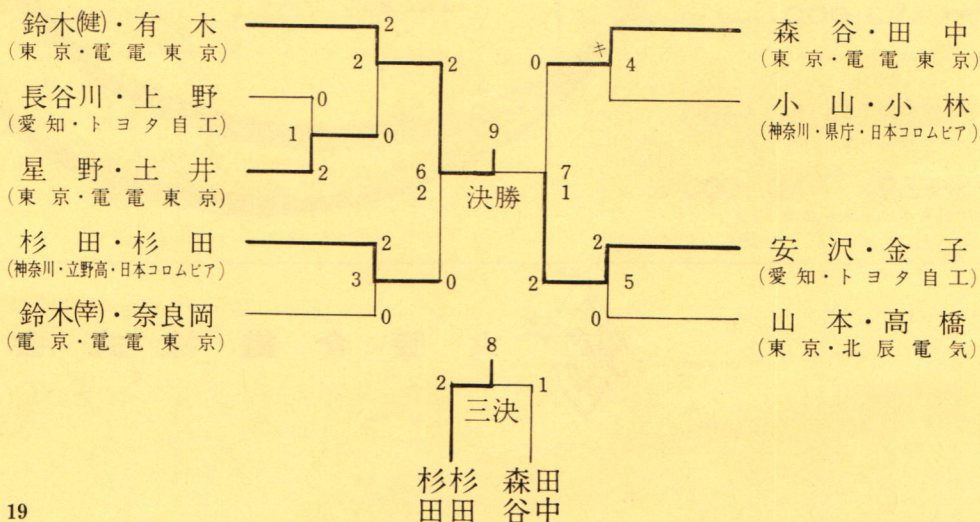
男子 単



男子 複



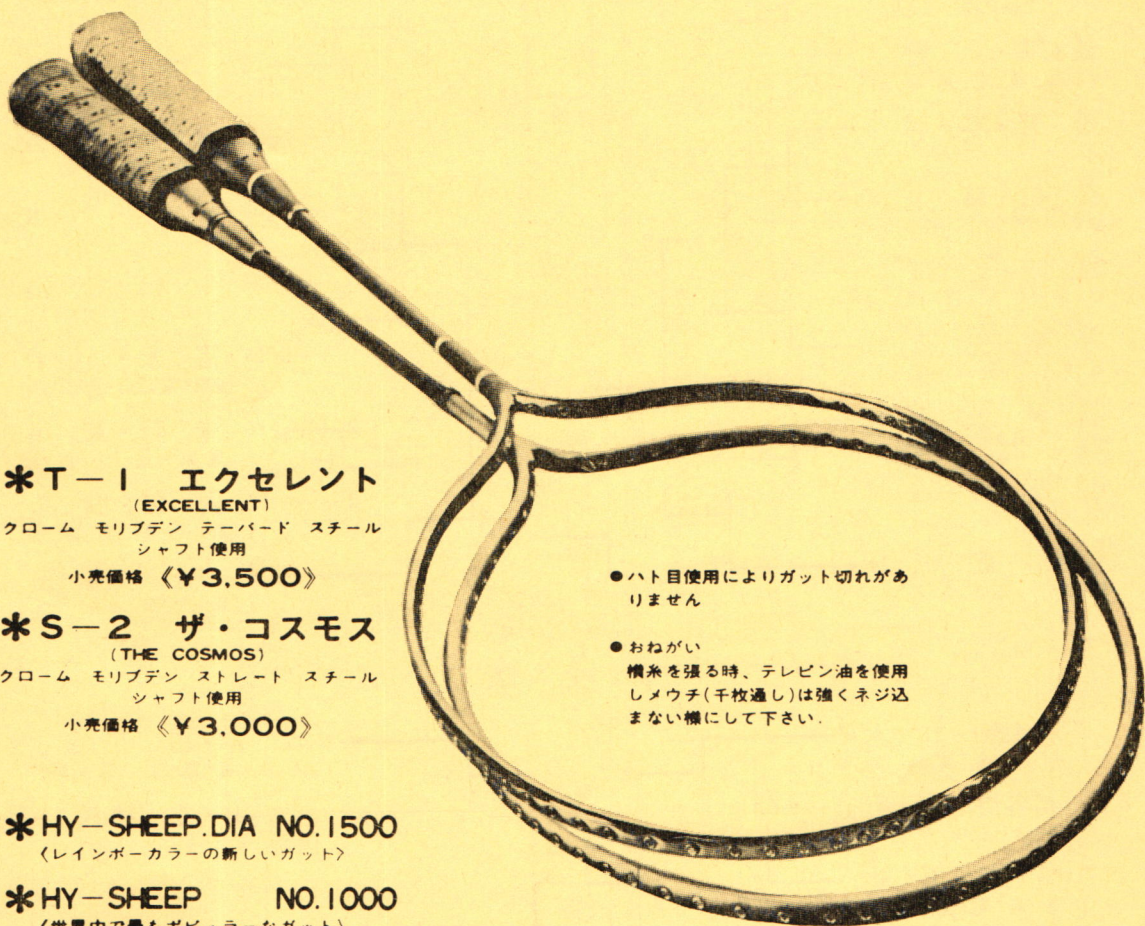
混合 複



SPACE AGE COMES, NOW GET SENSATIONAL GOSEN RACKET!

《オールスチール
バトミントンラケット》

- アルミ製では不可能なスチールの弾力を生かした最高級フレームです 従来のT型バチの欠点である打球時の不安定と、ラケットの中心以外で打った時のシャフトの飛行距離の悪さを完全に解決したY型バチを採用しました



*T-1 エクセレント

(EXCELLENT)

クローム モリブデン テーパード スチール
シャフト使用

小売価格 《¥3,500》

*S-2 ザ・コスモス

(THE COSMOS)

クローム モリブデン ストレート スチール
シャフト使用

小売価格 《¥3,000》

- ハト目使用によりガット切れがありません

- おねがい
横糸を張る時、テレピン油を使用
しメウチ(千枚通し)は強くネジ込
まない様にして下さい。

*HY-SHEEP.DIA NO.1500

〈レインボーカラーの新しいガット〉

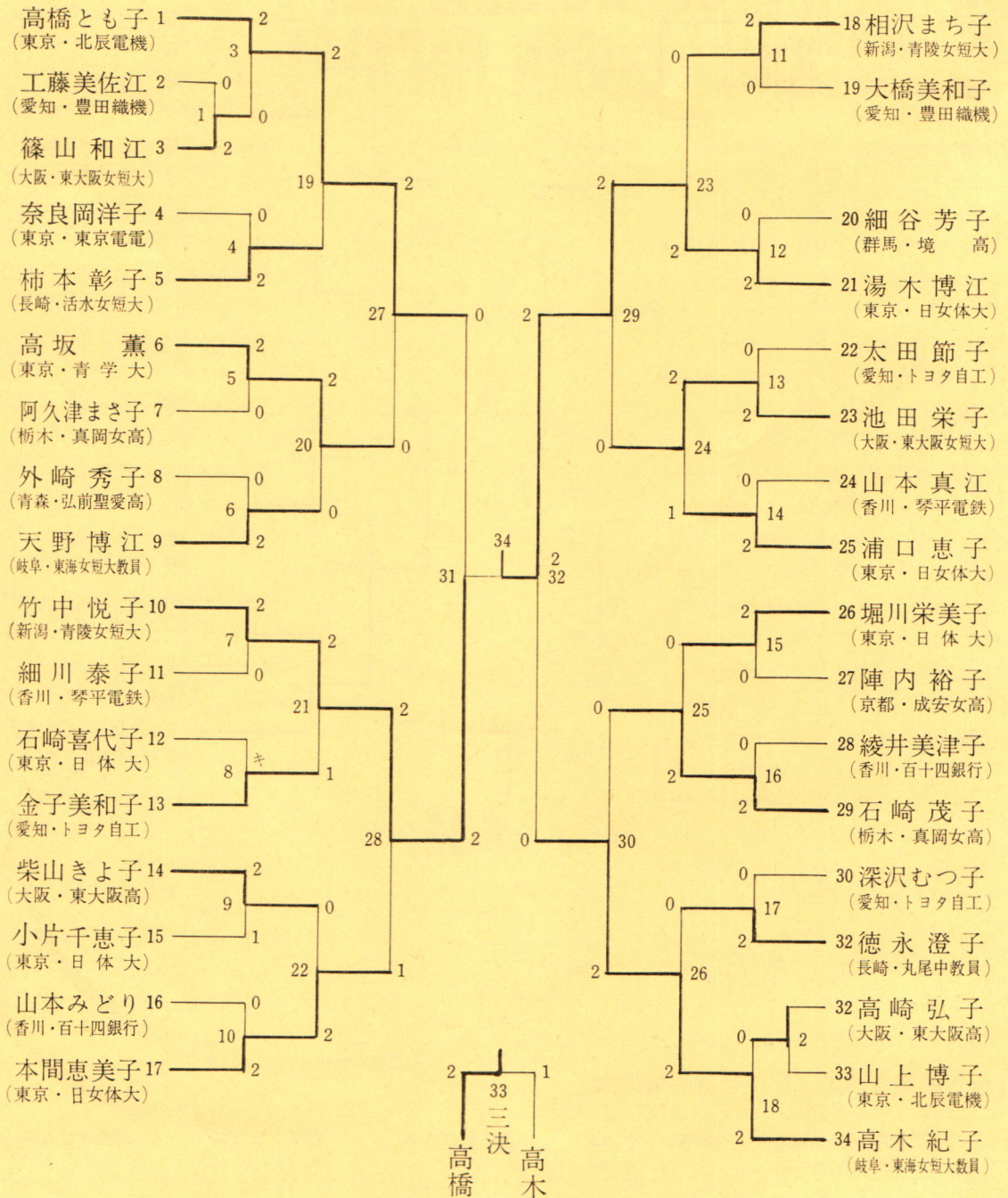
*HY-SHEEP NO.1000

〈世界中で最もポピュラーなガット〉

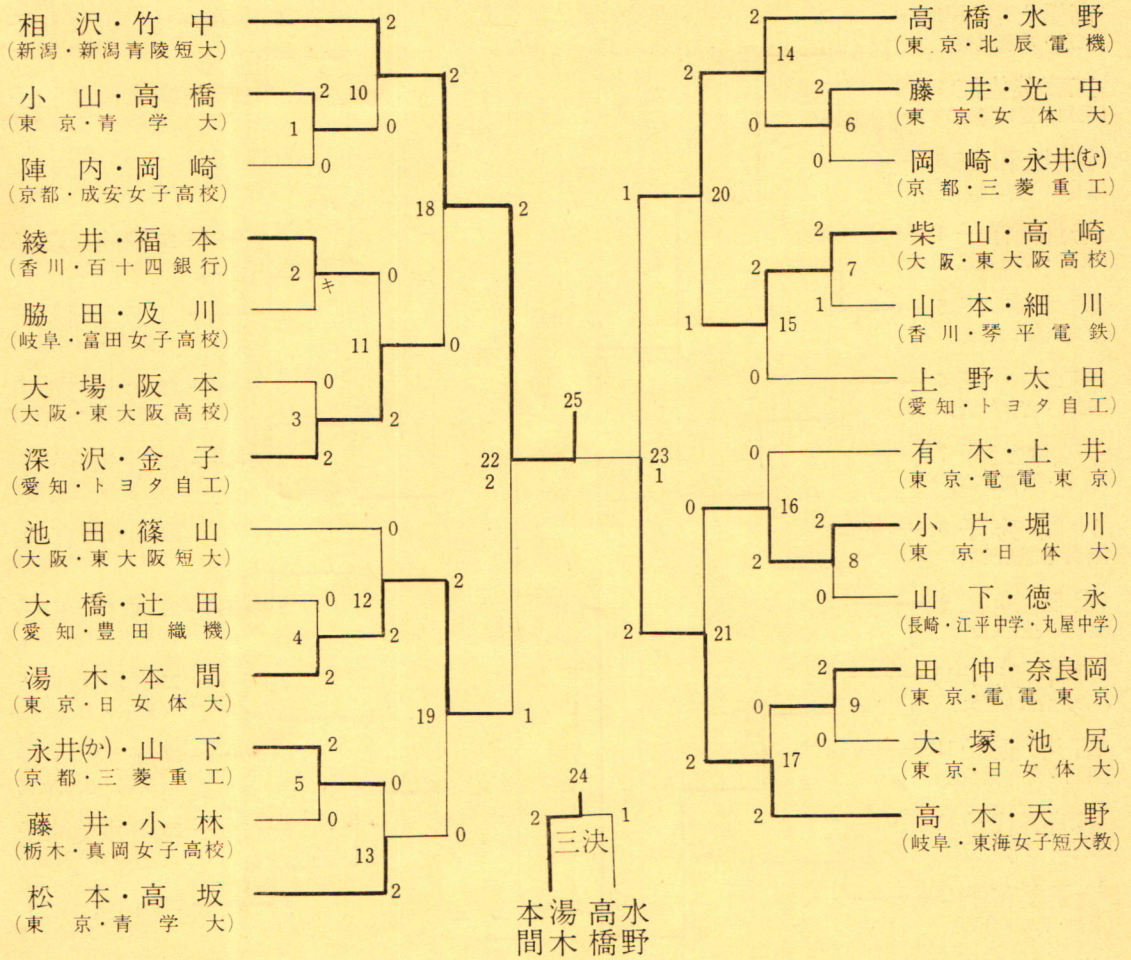


大 阪 合 織 株 式 会 社

女子単



女子複



全日本総合バドミントン選手権大会

男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス	混合ダブルス
35 小宮好雄	橋美智子	沢田・森	高橋・長崎	毛利・根岸
36 小宮好雄	秋山文子	沢田・森	村・横山	杉田・杉田
37 小宮永武	高木文子	沢田・森	高木・諸田	星野・有木
38 渡部紘一	横井文子	鈴木・東条	有木・三原	星野・有木
39 宮永武司	高木紀子	堺・宮永	高木・天野	星野・有木
40 秋山真男	横山満子	堺・宮永	高木・天野	東条・横井
41 小島一平	高木紀子	堺・宮永	高木・天野	小宮・上野
42 小島一平	高木紀子	秋山・小島	高木・天野	板垣・太田
43 小島一平	高橋とも子	秋山・小島	相沢・竹中	鈴木・有木

選手が選ぶ
バドミントンウェア



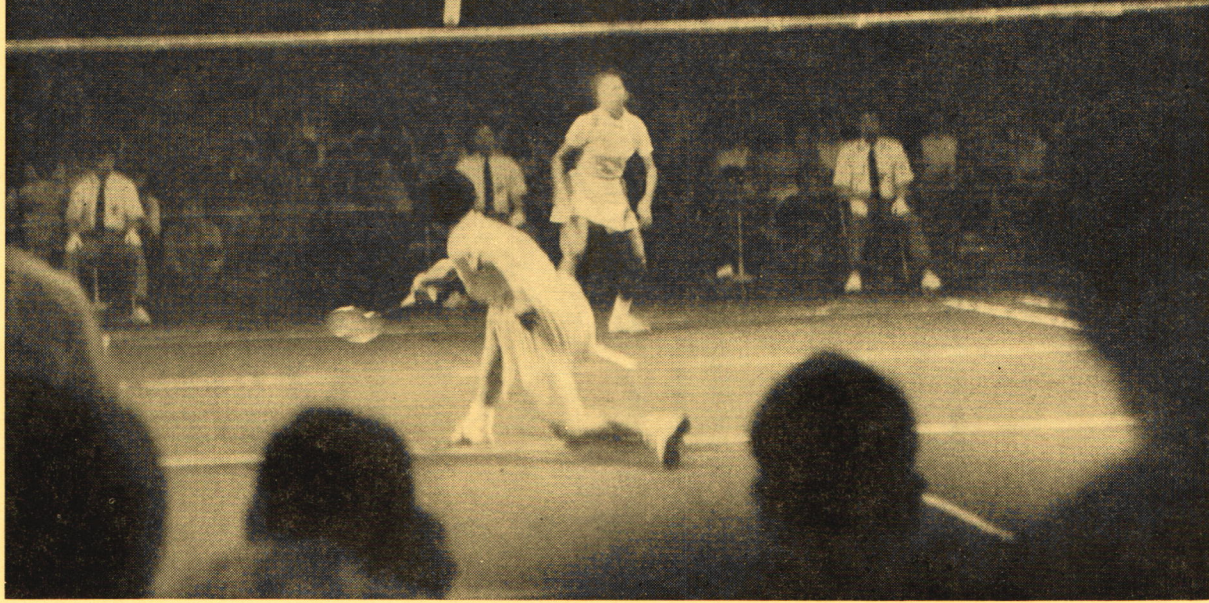
シャツ・ズボン・スコート・ジャンパー・セーター・チョッキ・ソックス

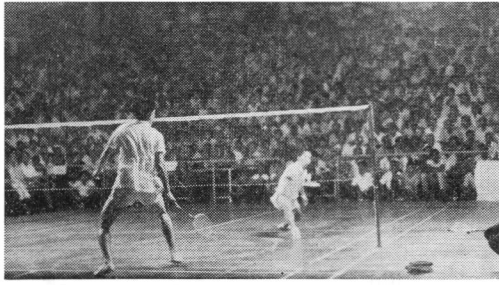
ジーエス

ぜいたくなコーマ綿をふんだんに使用しています。
エイトロック織りの高級な肌ざわりが魅力です。



カワサキ
ラケット





筆者も一九六八年十月のマレ

単のサービスマン

に代表される如く、相手をコート奥深く追ひこむハイ・クリヤーとネットぎりぎりに引きつけるドロップ・ショットが主軸であり、ロング・ハイ・サービスマンで如何が試合の勝敗を大きく左右するといっても過言ではない程に思われる。また、対するコップスマンもこの正確無比のサービスマンに微動だにしなかった。アイク・ハンにマッチ・ポインントを握られながら、一センチにも足りない(観戦者からはオン・ラインに見えた)アウトを平然と選球する落着き振りと彼のジャッジの力というか、その自信の程にア然とさせられた。

小島「まだ不安な

ーシア招待に参加して男子単の決勝で小島選手がアイク・ハンと対戦し、善戦健闘の末2-1で惜敗したとき、アイク・ハンと小島選手の差はロング・ハイ・サービスマンとハイクリヤーであったことを憶えている。即ち、アイク・ハンのは常には常にコート一杯であるのに、小島選手のはそれはサービスマンやクリヤーの大半がコートいっぱいには飛んでいなくて上背のあるアイク・ハンにとつては、ずいぶん有利だったのである。小島選手に登場してもらおう。

小島のサービスマン

私は、どうもシングルスサービスマンが安定していない。ときにショット・サービスマンを用いて感じることは、自分より弱い相手には通用するが、同等または強い相手に対しては決してうまくいかない。セオリーとしてはラインぎりぎりに落下するロング・ハイ・サービスマンが一番いいように思う。ショット・サービスマンはコート一杯に深くリターンされるとそれだけで不利になるので危険性を含んでいる。

68年10月マレーシア招待大会男子単決勝、タン・アイク・ハン(手前)对小島一平選手

るといえる。なおバテたときのドライブ気味なロング・サービスマンは、ときに相手の一発目(サービスマンのリターンそのもの)のミス誘い得ることを幾度か経験し、シングルスサービスマンの変化の重要性をも、理解、会得しようとする身をもって勉強中である。

さて筆者も小島選手の試合を国内、国外で数多く見てきたが、彼の言にもあるとおり、シングルスサービスマンが不安定であることは正直に認めたい。特にロング・ハイ・サービスマンがアイク・ハン並みになったら、小島選手は大きく飛躍するのではなからうか。彼自身が課題の一つにしてくれるならこの上もなく嬉しく思う次第である。ところでタン・アイク・ハンを話題を西野選手に求めて見よう。

アイク・ハン対ルディ・ニオ(インドネシア)の観戦記
第1ゲーム、アイク・ハンが先取、第2ゲームは逆に、ルディがリードして14-6と追いついてきた。ところがアイク・ハンは死力を尽くしてじりじりと挽回、14-14とセティングに追いつき、遂に17-14で逆転劇に成功してストレートにルディを倒した。

点から17点まで挽回するまでの間、ルディに1点も与えなかったわけであるが、世界のシングルストップを争う両者間においてもこのような奇蹟的な事実がおこったのである。その大きな分岐点は何であろう？

西野選手も感服：

西野選手はその一つを次のように語ってくれた。「アイク・ハンは7点目から17点までの計11点をとるまで、同じスタイルで同じ場所に落ちる(勿論コートいっぱい)に同じような高さのロング・ハイ・サービスマンに徹していたのが今でも眼の底に焼きついている」

これは、何を意味するだろうか。アイク・ハンは自分の最も得意とするロング・ハイ・サービスマンに終始したことを果して意識しているか否か判らない。しかし相手のルディはきつと嫌な思いがしたに違いない。じりじりと挽回されながら「サービング・マシンを思わせるあのサービスマンでネバられる、またあのサービスマンで追いつかれる、それでもそのうち変わったサービスマン一度位は送りこんでくるかも知れない、そのときこそ」と秘かに待っていたチャンスは遂に最後まで訪れてくれなかった!!

今回の冒頭に述べた堺選手の失敗談に対して、これはまた全く対照的な成功談である。サービスマンに対する自信、自分の得意とするものに徹しきった美事な勝負根性に賛辞を惜しまない一方、次のようなまとめで今月の結びとしたい。

絶対的な自信のもてるもの一つでもよいから身につけよ。すべてがものになっていないのにいるいと小細工を弄するのは自らの墓穴を掘るに等しい。

外国選手紹介
マレーシアのタン・アイク・ハン、インドネシアのルディ・ニオ(現在はルディ・ハルトノ)及び同国のムルヤディはそれぞれ世界のトップ・プレーヤーとしてここ数年全英などで優勝争いを繰り返している。因みに本年3月の全英の成績は1位ルディ、2位ムルヤディ、3位アイク・ハン(第五十七回は1位)である。

資料をご提供いただいた堺、小島、西野各選手に深甚の謝意を表し、ト杯成功を誌上よりお祈りします。

筆者紹介 毛利清志(四) 日体
大出、協会常務理事、同指導副委員長、山陽学園高校教諭、第五回ニューバー杯コーチ

私の場合



読切連載
【第4回】

立大OB

永井 栄 一

連日の三十キロ往復マラソン

両立するスポーツと勉強

聖学院（東京・北区）にはあったことが、ぼくをバドミントンに結びつけた。

聖学院には、この前のユ杯監督、今井先生がおられたからだ。運動が好きだし、長身（現在一八一・六才）だったから、



バスケットをやらないかとさそわれたこともあり、自分では硬式野球の選手になりたかった。ところが、学校に硬式の部がないので、「それでは、学校のクラブで一番強い競技を」とバドミントンに足をふみ入れたのだ

紹介

▼永井栄一氏は中学から社会人までの間に、東京、関東、全国の高校、大学、全国のすべてのタイトルを手に取り、トマス杯代表を二度つとめた。

おもな優勝は①全日本単（58年）複（57―59年）②国体（60、61年）③全国高単（55年）④全日本学生単（56、58年）複（56年）など

▲右から二人目が筆者

（ト杯米国遠征で）

った。中学二年の秋。

今井先生は、すぐきびしかった。いや、きびしいというより、本当の意味で「正しい指導をしたというべきだろうか。練習はいつも、授業が終わってから、つまり、夜の六時―九時という決まりだった。それでも、勉強の方が一定のレベルに達しない選手が出ると「バドミントンはやめなさい」と、宣告した。

スポーツと学業は両立するか——これは、いつの時代でも選手に問いかける大きな質問だが、ぼくは「両立するか、しないか」ではなく「両立させるかどうか」だと思う。意志あるところに道は開ける。要するに本人しだいなのだ。

もともと、先生の中には、そのわがりのいい方もいた。その

人は「スポーツか勉強か、どっちかに精力を集中して悔いなき青春をおくらぬやつはバカ人間だ」といって、授業中、どつつかずの「ノンポリ派」には、竹のムチでピンピンしごいていたが、ぼくは幸いにして、居ねむりなどしたところを見つかった。「お前は練習で疲れているな」と、ニヤッとすただけだった。

大学（立大）は、さらにきびしかった。私が進学したころ、先輩には並木、北島など、好選手が目白押しで、一種の黄金時代だったが、その裏には、いまの人は考えられないトレーニングがあった。

なにしろ、大学のある池袋から神宮外苑まで、約十四キロぐらの距離を、毎日、走るのだ。それで終わりではない。外苑につくと、インタバル・トレーニングのダッシュやら、うさぎとびやら、いまでいう「サーキット」でしごかれ、すぐまた、走って帰るのだ。

より高いところから打つ、というのがバドミントンの原則。「お前は背が高いから、いいだろう」よく人にいわれるのが、当然、利点はある。だが、ノックは低目やサイドに弱いから、ただ長身であればいい、という

ものではない。ことにぼくは「スポーツは無理ですよ」と医者にあきれられたほど、からだ固かったから、それを克服するのに、ずいぶん骨折った。そして、長身の利点を百パーセント生かそうと考えた。

大体、スマッシュは、拾うもの、というのをおかしい。スマッシュでも、早く動けば高い時点でとらえ、スマッシュしかえすことができるのだ。だからぼくは、いつも「肩から下の位置ではタマをとらない」ことに努力を集中した。

この「努力」は、ふだんの生活の中にある。バドミントンにとって最も必要な「脚力」をつくるため、聖学院高校時代は、行きは右、帰りは左というように、片足で荒川大橋を走ることをやったりした。

ツマ先き立ちでかまえ、フットワークの基本が同じだからというので、から手にも入門してみた。

手に持ったカサをふったり、それを握ったり開いたり、電車のつり皮、カバンの柄、同じような要領で、グリップを強くする練習につとめた。

要はその選手のやる気ひとつで、道はどうにでもなる、とぼくはいいたい。

〈ヒロイン登場〉

湯木博江というおんな

すりばち型のスタンド。暗闇

同然の上段の席に、観客からぼつんと離れ、白い髷がひとつ、浮かんでいた。

湯木だった。全日本総合選手権の最終日。女子シングルス決勝の出番まで、あと一時間たらずだった。だまって、わたしが隣席に坐ると「へんなんです。さっきから、ガタガタして落ち着かなくて……」小声が話しかけてきた。切迫した響きがあった。

反射的に、わたしは六月のユーパー杯決勝、第一試合での、湯木のあのアガリようを思い出していた。

「竹中にはインカレ（全日本学生）で優勝したろう。スマッシュさえ封じれば……」

「わかってるんですよ、でもやっぱりダメなんです」

わたしはそれから、とりとめのないことを十分ほど話した。そして話の最後につけ加えた。

「勝ったら豪華なディナーをお

ごるよ」

とたんに湯木は、目を輝かし「わぁ」といった。神経性の胃の不調をとめるため、薬を買って行っていた同僚などが寄ってきた。「湯木、大丈夫？」「うん、新聞記者と話したら、元気が出たよ」

とりとめのない、わたしの雑談が、彼女の気をまぎらわすためのものである、ということ、

彼女は知っていた。そして直接

「ありがとう」を口にするかわりに、こう表現したのだった。湯木博江は、そんな女の子である。

その前日、わたしは話術のうまい共同通信の竹市記者と、湯木、本間の両嬢を相手に、かなりの時間、やはりスタンドで雑談した。わたしはそのとき「ぼくの専

攻は、女性心理学だよ」と、ついで、いった。これはでたらめではないが、事実でもない。わたしの専攻は英文学であり、心理学は、いわば余技だからだ。

しかし、湯木はストリートに信用した。「どうりでね。いろいろ、くわしいと思った。彼女のことが聞いたらとたん、だから、わたしは頭の中で「申しわけない」と湯木にわびていた。「こんな善良な女性をだますなんて……」

雑談は全日本の開閉会式の演出やら、スポーツのファッションやら、技術や練習のことまでに及んだ。技術の問題で、竹市君は、彼女たちに「秘密兵器」となりそうなのアイデアを二、三、話した。

湯木は、これにもストリートで飛びついた。「その話、すぐ練習してみようかな」だから、残念だが、その内容をここで述べるわけにいかない。

フットワークのこと。わたしはその数日前、かつてのト杯代表、永井栄一君に聞いた。から手の研究の話を話した。ダンスや音楽の素養がリズム感覚にいいこと、テニスや卓球だけでなく、多くのスポーツを知ることが、どんなにプレーの幅を

広げ、深くするか……。「そうなんです。もともとと勉強しなきゃ。本当はいろんなスポーツを見たんです。これと教えて下さい」

「やっぱり新聞記者は、いいこという。また聞かせてね」

そして、ケラケラと笑った。湯木博江は、こんな女の子である。

なんの話だったか、冗談の続きの中で、彼女はむきになっていった。「わたし、毎日かならず、お洗濯やるんですよ」。ものの統計によると、毎日洗濯する日本女性は、ごくわずかなのである。

だが、きちようめんな人間は一面、かなり神経質だ。わたしは、そのとき、ふと、そう思った。

(東京新聞 後藤忠弘)





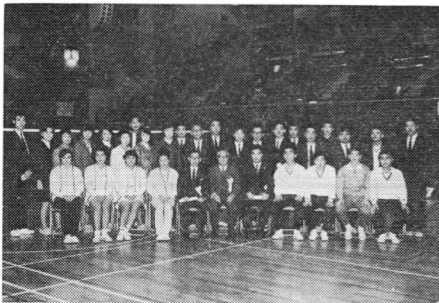
世界選手指権招待試合開く

宮城県
協 会
底辺拡大に最高の効果

底辺の拡大とレベル・アップは、よい試合を見ることから——こんな趣旨で「世界選手指権招待試合」と銘打った一流プレーヤーの模範ゲームが、さる十一月八日、仙台市の宮城県スポーツ・センターで、華やかに行なわれた。

出場者はユーバー杯二連勝の女子チームから高木、天野(東海女短大教員)高橋(北辰電機)湯木(日女体大)、今春、決戦を迎えるトマス杯メンバーから小島(ヨネヤマ)堺(カワサキ)西野(自営)本間(中大)の各四人。

できるだけ楽しい雰囲気では、バドミントンを知り、親しんでもらおうというので、試合の合間には、バトンガールの演技、宮城県協会指導部・鬼宗利氏の兄、宗久氏(東芝レコード)の自作の歌の披露など盛りだくさん、もちろん、本筋のPRもおおごとく、技術解説、中・高校生男女のエキシビジョンもあって、館内を埋めた三千のファンを喜ばせた。プログラム(このページのカット)など、なかなか、こったもので、選手の紹介(くわしい横顔つき)バ



選手団と役員との記念撮影

ドミンゴンの略史と日本の現状、簡単なルールの説明、ト杯、ユ杯の手びき、はては、本誌創刊号に載った「素顔のヒロイン・高木紀子のこと」の転載記事まで、いたれり、つくせりの感じ。

余談だが、大会終了後の選手と地元役員たちのレセプションは、ダンスから落語まで飛び出したという。こうした親密感、一体感のなかから、本当のスポーツの発展の芽が生まれるのではないだろうか。

この計画は、二年越しのものでした。昨年は日程が社会人選手権と重なったため、ぜひとも今年度はということで手がけたものです。目的としては、つぎのような諸点を考えました。

①県下の小中学生、一般社会人にバドミンゴンのよさをアピールし、愛好者になってもらい、見るスポーツとしての楽しさも知ってもらおう
②選手育成の点から、最高レベルのゲームを見ることよって、若い人に夢を植えた
③トップ・レベルの開発、技術の向上をはかりたい
④競技発展のため、協会役員の一層の団結、選手との交流をはかる

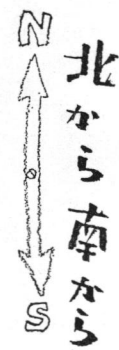
これを、もう少し要約すると指導委員長としての立ち場から「マイナー・スポーツと見られているバドミンゴンの地位を高め、広める」とともに「学校体育、社会体育として価値ある競技であることを認識させた」ことがありました。また、宮城県という地域で、どれだけ愛好者を集められるものだろうか、という冒険もありました。

指導部がつくった実行委員会は、平均年齢23歳という若手ぞろいになりました。若い人の実行力と情熱を期待したからで、結局、大成功でした。また後援を教育委員会、放送局、新聞社にお願いしました。

入場券はA席百円、B席(コートサイド)三百円で、各三千枚、四百枚を発売、ほかに小中学生は無料招待した。

観客動員については①高校に割り当て②大学関係に体育の単位の時間として、観戦してもらおう③各連盟から会社、実業団、一般観客に配布割り当て④中学校は中体連を通じ、校長に連絡⑤県下各支部を通じ配布⑥各種大会の折りにPR、前売り——など、あらゆる手段を講じた。

しかも、これを前後三回にわたって回収し配布とくりかえし、ほとんどを前売りで確保した。このため大学で五百枚がさばけ、コートサイドは当日分を含め、全部が売れた。選手たちも全力をつくしてくれ、こんなにうれしいことはない。





◇ ニュージーランドも ◇
◇ 選手強化に急ピッチ ◇

ニュージーランド協会は、このほどトマス杯大会出場のため強化トレーニングのため八人の代表選手名を明らかにしました。

同国協会のジョージ・ビンセント事務局長は「強化選手は六週間にわたってウェリントン、ニュー・プリマスでトレーニング

し、その後、来年四月に正式メンバー六人を選出する予定だ」と語り「そのあと、シンガポール、バンコク、ペナンで国際試合を重ね、五月にクアラルンプール入りする」と付け加えた。

今度選ばれた選手は、J・コプトン、D・ヒギンス、M・

ストセル(以上ウェリントン出身)、R・パーザー、B・パーザーの兄弟(以上タラナキ出身)、J・ロー、W・ジョンズ(以上オークランド出身)とG・ミラー(カンタベリー出身)の八人です。

同国は、豪亜ゾーンで豪州を破り、そしてことし九月、クリストチャーチで行なわれた、対シンガポール戦に7-2で快勝し、ゾーン代表権を獲得しています。今回のメンバーのうち、J・ロー、G・ミラーの二人だけがシンガポール戦に出場していません。ニューフェースです。

プリ(デンマーク)が逆転優勝

ロンドン・オープン選手権

十一月二十九日、ロンドンで開かれたロンドン・オープン・

バドミントン選手権大会の男子シングルスでスベン・プリ(デンマーク)がポール・ウェトナール(英国)をストレートで破り、選手権を獲得した。

プリは若冠二十三歳、そして世界でも屈指のトップ・プレイヤーで、この日は持ち味の粘りを十分に発揮して勝った。

試合は二ゲームともウェトナールが先行、プリが追い上げるという、スリル豊かな激戦だった。第一ゲームは7-10とウェトナールが取り、だれの目から見てもウェトナールの優勢、そのまま第一ゲームを終るだろうと思われた。

ところが土壇場に立ったプリは粘りに粘り、着実にポイントをあげた。第二ゲームもまた6-11のピンチ。そしてこの危機も気力でウェトナールを圧倒して勝った。この試合でのプリは精神的な強さはもとより、技術的にも機械のようによくコントロールされた絶妙なドロップ・ショット、正確なスマッシュで、これまでの彼女を知っている人から『あれが!!』といわれるほど別人のようなプレーだった。

この試合時間は四十八分間と比較的短時間だったものの、その内容は観客を魅せるにふさわしい密度の濃いものだった。

(共同通信・竹市行男)

The light-HEADED RACKETS

Game coming up? Then celebrate it light-heartedly with a new Carlton!

MATCH IT WITH THE SUPERB
CARLTON INTERNATIONAL SHUTTLE



CARLTON
SHUTTLE DOCKS

CARLTON PUT THOUGHT INTO SPORT.

日本国総代理店
日本カルトン株式会社
大阪・東京

ルール100問?

連載

③

2. コート(続)

問12 国際試合の写真などを
見ますと、ネットの真下に細め
のラインが描いてあるのに、競
技規則書の図には出ていないの
はどうしてですか。

答 細かいところに気がつき
ましたね。競技規則としては、
ネットの真下にはラインはいら
ないのですが、審判をしやすい
ように便宜上描いたものと思い
ます。ラケットやプレイヤーの
足などが相手のコートに出た場
合のフォルトをとりやすくする
ためでしょう。

問13 「バック・バウンダリ
ー・ライン」は長くていいに
いのですが、サイド・ラインと
同じに「バック・ライン」では
いけないのですか。

答 バック・ラインといいま
す・ダブルスのロング・サービ
ス・ラインのことを指す場合が
あります。そこで、バック・バ
ウンダリー・ラインだけを指す
際にはエンド・ラインとかペー

ス・ラインと略称した方がよい
と思います。

問14 第14条第5項に境界線
という言葉がありますが、第1
条のコートの図には書いてあり
ません。これはどのラインです
か。

答 これは特定のラインの名
称ではなく、バウンダリー・ラ
インの和訳です。例えば、シン
グルス・コートのバウンダリー
・ラインといえは、シングルス
・コートの一番外側のライン(バ
ック・バウンダリー・ラインと
サイド・ライン)のことであり、
サービス・コートのバウンダリ
ー・ラインといえは、サイド・
ラインとセンター・ライン、そ
れにロングとショートとの両サ
ービス・ラインということにな
ります。

問15 エンドとかアレーとか
いう言葉聞きますが、これは
どういうことですか。

答 エンドとはネットを境に
して、そのどちらかの区域のこ
とをいいます。つまりコートの

半分ですね。そのうち、ネット
寄りの部分をフォア・コート、
ネットから遠い部分をバック
コート、ネットに向かって右半分
がライト・コート、左がレフト
・コートです。そして、各エン
ドの中央部がそれぞれミッド
コートと呼ばれています。

アレーというのは、ダブルス
のサイド・ラインとシングルス
のサイド・ラインに挟まれた細
長い区域です。ダブルスのロン
グ・サービス・ラインとシンダ
ルスのロング・サービス・ライ
ン(バック・バウンダリー・ラ
インのことですね)との間のア
レーをバック・アレーといいま
す。前者は幅46センチ、後者
は76センチということになり
ますね。

問16 ラインの色は白でなく
てはいけませんか。

答 白でなくても、ハッキリ
していればよいのです。地面
(床)の色や、他の競技のため
に描いたラインと区別して明瞭
にわかれば、何の色でも結構で

す。

よく、学校の体育館などで、
バドミントンのコートまでライ
ンを描くと他の競技をするとき
にわかりにくくなるからなどと
いって、コーナーに小さく印を
つけることだけが許されている
場合もあります。しかし、たと
え数多くのラインが描いてあっ
ても、バスケットのボールを持
って構えれば、バスケットのラ
インだけしか目に入らないよう
でなくては恥ずかしいですね。
ラケットを持ってシャトルを

追っているときには、バドミン
トンのラインしか目に入らない
ようになってもらいたいと考え
ます。ただ、ラインの色は競技
ごとに別にしておいた方がよい
でしょう。

体育館の本当の美しさという
ものは、ただきれいに掃除され、
ピカピカ光っていることだけで
はありません。沢山のラインが
描かれ、入り替わり立ち替わり
多くの生徒が思う存分に活躍し
ている光景こそ、真の体育館の
美しさを表わすものではないで
しょうか。

しかし許されるまでは、練習
のたびに、みんなの力をあわせ
てラインを描き、練習が終った
ら、ラインを消して、きれいに
掃除することも、バドミントン
の大切な修練です。

3. ポストとネット

(規則第2、3条)

問17 ポストといったらポー
ルのことじゃないのですか。

答 そうです。ポールといっ
ても、まず間違いないでしょう
ね。しかし、英語でポールとい
うと意味の範囲が狭いのです。
とにかく、バドミントンでは、
ネットを張るところをポストと
呼ぶのです。ポストといったか
らといって、あわてて手紙など
を放りこもうとしないで下さい
ね。

問18 ポストをサイド・ライ
ンの上に立てるときは、ポスト
の中心をラインの中心に合わせ
るのですか。

答 いささか細かい話になり
ますが、正確にいえば、ポスト
の外側をラインの外側に合わせ
るべきだと考えます。ポストの
直径がライン幅(3.8センチ)
と同じなら一番簡単ですね。大
切なことは、垂直に、しっかりと
立てることです。最近バドミ
ントンが普及して来て、多くの
新しい体育館では、設計のた
きから床に受穴を用意し、ただ
ポールを真直ぐさしこむだけで
よい便利なものが珍らしくなく
なりましたが、何年もたつうち
に、ポールがだんだん内側へ、
湾曲してくる場合がありますの
で、注意が必要です。

組織加入が先決

勤労女性の技術向上

質問 来年の岩手国体に備えて県ではバドミントンのレベルアップに懸命ですが、私たちの技術、精神面の強化、今後のバドミントンの方向などについて指導下さい。(盛岡市・佐藤幸子)

答 バドミントンだけでなく国民体育大会に該種目が含まれていて、全国的競技が行なわれることで、開催県のレベルアップに非常な貢献がなされることは否定できません。多少の無理と強行は必然的にあるとしても県民をあげてのスポーツ熱の波に乗って努力すること自体、それなりに充分の意義があり、今後、相当成果をあげている事実を卒直に認めねばなりません。国体成功の要因の第一に「和」をあげなければなりません。県全体の和、県協会内の和、県と開催市町村との和、プレーヤー同志の和、選手と役員との和、事務局内の和 他……さて個人的な技術面、精神面のアドバイスですが、一般論でおゆるし下さい。

- 1、前後左右上下に相手を揺ぶる
- 2、相手の体をねらい
- 3、スピードに変化を与えて相手のミス誘発するゲームで、シングルスは
- 4、相手をコート内の四隅に(ボデーをふくめれば五隅)にゆすぶり、ダブルスはそれに加えて
- 5、なるべく相手方は上向きにこちらを下向きに打つような体勢をねらい
- 6、ネット近くに浮いたバドをうまくとらえ
- 7、ミドルやボデーをねらうゲームであるということ
- 8、そのためには
- 9、コート上のどこからでも、どこにでも、どんなストロークでも打てる体力、技術を持つことが理想です。その上に複雑な掛け引きが要求されます。
- 10、まことに陳腐なことですが、このわかりきったことが、何とおろそかにされていることよとなげくことが多いわけです。
- 11、以上のことをふまえて、無駄のない練習をつづけて下さい。
- 12、岩手国体における好成绩を心から祈ります。

かどうかについて、ご教示下さい。(京都市・北村真木子)

答 先ず近くのバドミントンの同好会か、クラブに加入することです。県協会を通じて日本バドミントン協会に加盟登録されるならばそれが一番賢明な方法でしょう。

練習場や相手、用具などを孤立して求めることは不利です。適当の相手、練習の場を見つければ先決だからです。

次に練習不十分でも近くの大都会に出場したり、観戦にでかけて下さい。

県や市町村に指導関係の方が必ずおられると思いますから、機を見て直接にお話しをおき下さい。

自宅ですることのできるトレーニングについても、それ等の方々から、きつとよい方法がきかれると思いますが、それに加えて、本誌第二号、第三号に掲載されている「百万人のバドミントン」の中の、遠井先生の高校生のトレーニングの中から、これなら自分にもできるというものを選んで、少しづつでも毎日実行して下さい。



ニューモードはバドミントンから

全日本総合選手権の初日、ベテラン高木紀子選手が、ワンピースのユニフォームでコートへ出てきた。見なれた？人にとってはなんでもないが、初めての観客もいたとみえ「あーら、へんよねえー」

そこで、取材に来ていた報道陣と、女子選手たちの間で、たちまち、スポーツのファッションについて、楽しい論議が持ち上がった。

「ウインブルドン(全英選手権)のテニスときなんているのは、大変なもんだよ。デオイルじゃないけど、有名選手はそれぞれ、自分のデザイナーを持っていて、個性を生かしたコスチュームで出てくる。すごいファッション・ショウだよ」

「そうよね、私たちが、いろいろ工夫して、すてきなを着てみたいわあ」

「開会式るとき、パーティをやるんだから、参加女子選手のファッション・ショウもいっしょにやったらどうだい」

「いいわね、コートの中ではあくまでも厳しく、それ以外の

場では楽しく。閉会式なんか、優勝者をかこむダンス・パーティなんかでしめくれば、ロマンチックじゃない。「協会のおえら方に、来年からでもやるように、提案してみようか」

さて、このアイデア、名案になるか、迷案でボシヤるか。

新人戦も「お花畑」

「今のは〇〇のタマだぞ」「ハイッ」「もって足を使わなきゃダメだ」「ハイッ」

関東学生新人戦でのひとコマ男子の激励に、素直に「ハイッ」をくりかえす女子選手。

この大会は大学一、二年だけが出場。A、B両ブロックに分かれ、Aはレギュラー、Bは大学にはいつてからラケットを握った初心者クラス。

それだけに、Bブロックともなると、日ごろ見なれたプレーからはほど遠い珍技やシーンが続出、カウント、コートを間違えるのはたびたび。

ところで、さて返事の主はと見ると、コート内はバツと花が咲いたよう。

タイトル・シャツにハイソックス、紺のカーディガンにピンクのブラウス…銀座の街角?と錯角をおこしそうな。バドミントンのニューモードは、弱い選手から起る!!(失礼)

■第四回東京都選手権
高校の部 (11月2、3日、豊島
区立体育館、二階堂高体育館)

男子の部

市
村2 (1515 | 0 2) 0 中
(日大鶴ヶ丘) (昭和) 津

関
谷2 (1815 | 16 3) 0 佐
(日大鶴ヶ丘) (九段) 野

佐
野2 (1515 | 4 6) 0 中
津

市
村2 (1815 | 14 5) 0 関
谷

坂岩
本2 (1515 | 10 3) 0 磯三
(堀越) (麻布) 村浦

関市
村2 (1515 | 6 12) 0 堀
(日大鶴ヶ丘) (麻布) 藤

佐堀
藤2 (1515 | 5 10) 0 磯三
村浦

関市
谷村2 (1715 | 5 16) 1 坂岩
本

男子二部

市
谷村2 (1515 | 12 9) 0 田
(九段) (志村) 中

佐々木
2 (1515 | 13 5) 0 田
(学芸) (板橋) 口

田
口2 (1518 | 9 17) 0 田
中

佐々木
2 (1515 | 1 7) 0 小
篠

大陳
口2 (1515 | 3 2) 0 渡花
(小石川) (杉工) 尾

高野
2 (1515 | 5 5) 0 遠
藤 (杉工) 藤

遠藤
2 (1515 | 9 3) 0 花渡
尾

大陳
口2 (1515 | 1 1) 0 加高
藤橋

女子一部

田
中2 (1111 | 7 5) 0 菅
(二階堂) (菓女高) 原

鎌田
2 (1111 | 7 5) 0 川
(桐朋) (二階堂) 村

菅原
2 (1112 | 6 11) 0 川
村

田
中2 (1111 | 0 5) 0 鎌
田

田川
中村2 (1518 | 5 14) 0 越岡
(二階堂) (桐朋) 原崎

鎌谷
田川2 (1515 | 7 6) 0 川久留
(桐朋) (桐朋) 鍋島

越岡
原崎2 (1515 | 6 4) 0 川久留
鍋島

鎌谷
田川2 (1512 | 15 6) 1 田川
中村

大
垣2 (1211 | 9 9) 0 甲
(成徳) (小石川) 田

池
田2 (1111 | 3 1) 0 山
(成徳) (小石川) 本

甲
田2 (125 | 11 10) 1 山
本

池
田2 (1111 | 7 8 12) 1 大
垣

島山
本2 (1515 | 13 12) 0 清高
(南葛) (東女子) 水橋

志出
村2 (1515 | 11 7 15) 1 三
(菊華) (常磐) 堀沢

三大
堀沢2 (1512 | 15 10) 1 清高
水橋

島山
本2 (1710 | 15 10) 1 志大
村出

男子シングルス
四回戦 本間(中大) 2-0 中村(法大) 笠井(法大)
2-0 落合(関東学) 牧野(日大) 2-0 岩田(近大) 池田(法大) 2-0 二上(早大)

寺前(立大) 2-0 樋口(法大) 竹原(近大) 2-0 足立(関学) 岩下(中大) 2-0 山口(近大) 平井(慶大) 2-0 木戸(日体) 梅野尾(法大) 2-0 樋谷(中大) 河田(名商大) 2-0 藤永(法大) 遠藤(日大) 2-0 鷲尾(中大) 森(法大) 2-0 菅沼(明大) 今泉(中大) 2-1 草島(法大) 杉本(早大) 2-0 木村(日大) 谷口(立大) 2-0 我妻(法大) 杉山(日大) 2-0 山崎(関東学)

五回戦 本間(中大) 2-0 笠井(法大) 1-0 牧野(日大) 1-0 竹原(近大) 1-0 樋口(法大) 1-0 岩田(近大) 1-0 池田(法大) 1-0 二上(早大) 1-0 寺前(立大) 1-0 竹原(近大) 1-0 岩下(中大) 1-0 平井(慶大) 1-0 梅野尾(法大) 1-0 河田(名商大) 1-0 藤永(法大) 1-0 鷲尾(中大) 1-0 菅沼(明大) 1-0 草島(法大) 1-0 杉本(早大) 1-0 木村(日大) 1-0 谷口(立大) 1-0 山崎(関東学)

準決勝 泉2 (1515 | 17 3) 0 杉山

梅野尾2 (1813 | 15 5) 1 森

寺前2 (1715 | 14 1) 0 岩下

本間2 (1515 | 8 1) 0 池田

今泉2 (1515 | 9 18) 1 梅野尾

寺前2 (1515 | 5 9) 0 梅野尾

本間2 (1515 | 9 10) 0 今泉

男子ダブルス
三回戦 梅野尾・児島(法大) 2-0 田中・森田(日体) 大森・二上(早大) 2-0 山並・安斉(東北学) 杉山・牧野(日大) 2-0 樋谷・相川(中大) 瀬戸・高橋(立大) 2-0 小林・阪本(関西大) 宮西・池本(近大) 2-0 高橋・小島(明大) 杉本・及川(早大) 2-0 赤塚・平山(日大) 本

岩下2 (1515 | 8 15) 1 平井

寺前2 (1515 | 8 15) 1 竹原

池田2 (1515 | 8 15) 1 樋口

RECORD

RECORD

谷口(立大)に栄冠

|| Aグループ男子単 ||

■関東学生新人戦

(11月20-26日、目黒、大宮前、永福町体育館)

▽: Aグループ個人戦: ^

◆男子シングルス

▼三回戦 鷲尾(中大) 2-0 二上(早大) 谷口(立教)
2-0 木戸(日体) 今井(早大) 2-0 田所(法大) 木村(日大) 2-1 三野(関学)

滝野(法大) 2-0 及川(早大)
牧野(日大) 2-1 門間(日体)
笠井(青学) 2-1 大森(早大)
笠井(法大) 2-1 遠藤(日大)

複は草島・田所組(法大)

◆男子ダブルス

▼準々決勝

米 井田 2 (1515) 4 10 0 上鈴 (慶大) 野木
笠 井田 2 (1515) 4 10 0 上鈴 (慶大) 野木
大和 井田 2 (1515) 12 6 0 及今 (早大) 川井
笠 井田 2 (1515) 7 5 0 相鷲 (中大) 川尾
田草 所島 2 (1515) 7 5 0 相鷲 (中大) 川尾

▼準々決勝

谷 口 2 (1515 8) 10 11 15 1 鷲尾 (中大)
今 井 2 (1515 4) 2 0 木村 (日大)
滝 野 2 (1515 4) 2 0 牧野 (日大)
笠 井 2 (15 9 15) 6 15 5 1 笠井 (青学)

▼準決勝

谷 口 2 (1515 6) 5 7 15 1 今井
滝 野 2 (1515 5) 8 0 笠井
谷 口 2 (1515 10) 7 0 滝野

▼決勝

滝 野 2 (17 12 15) 1 木門 (日体) 戸間
笠 井田 2 (15 15 18) 1 大笠井 (日体) 戸間
田草 所島 2 (15 15 4) 5 1 大笠井 (日体) 戸間
田草 所島 2 (15 15 7) 12 0 滝野 (日体) 戸間

田草 所島 2 (15 15 7) 12 0 滝野 (日体) 戸間
田草 所島 2 (15 15 4) 5 1 大笠井 (日体) 戸間
笠 井田 2 (15 15 11) 15 16 1 大笠井 (日体) 戸間

女子単は小片(日体)

高坂は準決勝で惜敗

◆女子シングルス

▼準々決勝

高 坂 2 (11 11) 3 4 0 横田 (日体)
堀 川 2 (11 11) 0 2 0 影山 (日体)
谷 沢 2 (11 8 11) 2 1 1 中村 (日体)
小 片 2 (11 10 11) 5 12 4 1 保坂 (日体)

複も小片組が制す

◆女子ダブルス

▼準々決勝

高 坂 2 (15 15 11) 5 15 1 横田 (日体)
湯 沢 2 (15 15 4) 5 15 1 横田 (日体)
栗 崎 2 (15 15 4) 11 0 広中 (日体) 沢村
栗 崎 2 (15 15 4) 11 0 広中 (日体) 沢村
稲 木 2 (15 15 10) 6 0 宮山 (日体) 武崎
谷 木 2 (15 15 10) 6 0 宮山 (日体) 武崎

男子は単複とも大東大

Bグループ単は向井田優勝

▽: Bグループ個人戦: ^

◆男子シングルス
▼五回戦 安食(成蹊) 2-0 兼村(専修) 向井田(大東) 2-0 花田(日体) 坂(日体)

▼準決勝

堀 川 2 (11 7 11) 6 11 7 1 高坂
小 片 2 (12 11) 9 6 0 谷
小 片 2 (11 1 12) 4 11 1 1 堀

堀 川 2 (15 15) 5 1 0 田川中 (日体)
湯 沢 2 (15 15 15) 2 7 18 1 栗崎
堀 小 川片 2 (15 15 3) 2 0 稲谷
堀 小 川片 2 (17 15) 14 4 0 湯高

▼準決勝

湯 沢 2 (15 15 15) 2 7 18 1 栗崎
堀 小 川片 2 (15 15 3) 2 0 稲谷
堀 小 川片 2 (17 15) 14 4 0 湯高

久保田(明学) 2-1 三野(青学) 加藤
久保田(明学) 2-1 三野(青学) 加藤
久保田(明学) 2-1 三野(青学) 加藤
久保田(明学) 2-1 三野(青学) 加藤

田(明学) 2-0 塚田(早大)

▼準々決勝

向 井 田 2 (15 15 11) 3 5 15 1 安食 (成蹊)
庄 条 2 (15 4 15) 9 15 7 1 坂 (日体)
久 保 田 2 (15 18 12) 7 13 15 1 加藤 (大東)
久 保 田 2 (15 15 12) 7 8 13 15 1 加藤 (大東)
久 保 田 2 (15 15 7) 8 7 13 15 1 加藤 (大東)

▼準決勝

向 井 田 2 (15 15) 8 5 0 久保田
向 井 田 2 (15 15) 11 6 0 庄
向 井 田 2 (17 7 15) 16 15 8 1 桜田
向 井 田 2 (17 7 15) 16 15 8 1 桜田

▼準決勝

加 伊 藤 2 (17 18) 15 15 0 桜田
加 伊 藤 2 (15 15) 3 8 0 角庄 (明学) 田沢
坂 金 田 2 (15 15) 3 8 0 角庄 (明学) 田沢
堀 野 2 (15 15) 9 12 0 平日 (電大) 田条
堀 野 2 (15 15) 9 12 0 平日 (電大) 田条

▼準決勝

加 伊 藤 2 (15 15) 4 13 0 塚田
加 伊 藤 2 (15 15) 4 13 0 塚田
加 伊 藤 2 (15 15) 4 13 0 塚田
加 伊 藤 2 (15 15) 4 13 0 塚田

RECORD

RECORD

女子単沢田が制す

復は石関組(明学大)

◆女子シングルス

▼準々決勝

佐藤 藤 2 (1111 | 1 | 5) 0 小瀬 (千葉)

飯山 山 2 (1111 | 9 | 5) 0 石関 (明学)

三上 上 2 (1113 | 0 | 11) 0 北田 (日女体)

沢田 田 2 (1111 | 5 | 5) 0 黒田 (共立)

団体(Aグループ)

女子は日体Aが楽勝

明学大 3 | 0 | 2 慶徳大

日体大 3 | 2 | 2 法大B

中体大 3 | 2 | 2 日体大A

日体大 3 | 2 | 2 法大B

青学大 3 | 0 | 0 早稲田大

法大A 3 | 0 | 0 明徳大

▼準決勝

佐藤 藤 2 (1211 | 5 | 9 | 7 | 11) 1 飯山

沢田 田 2 (1111 | 2 | 6) 0 三上

▼決勝

沢田 田 2 (11 | 8 | 11 | 5 | 11 | 7) 1 佐藤

◆女子ダブルス

▼準々決勝

佐藤 藤 2 (1515 | 5 | 5) 0 七沢 (千葉)

田中 中 2 (1515 | 3 | 10 | 15) 1 丸相 (共立)

宮石 地 2 (1515 | 3 | 8) 0 松浦 (明学)

宮石 地 2 (1515 | 3 | 8) 0 松浦 (明学)

田中 中 2 (1515 | 5 | 5) 0 七沢 (千葉)

▼準決勝

宮石 地 2 (1515 | 5 | 7 | 12 | 15) 1 田佐

小飯 黒山 2 (1515 | 9 | 10) 0 明甲

▼決勝

宮石 地 2 (1515 | 9 | 6) 0 小飯

▼女子一回戦

日体大 3 | 0 | 0 千葉大

昭和女大 3 | 1 | 1 成城大

杉野女大 3 | 0 | 0 東女体B

明学大 3 | 0 | 0 日女体B

▼二回戦

日女体A 3 | 0 | 0 日体大B

東女体A 3 | 2 | 2 昭和女大

日体大A 3 | 0 | 0 杉野女大

青学大 3 | 0 | 0 明学大

▼準決勝

日女体A 3 | 1 | 1 東女体A

横保 田 1 (6 | 15 | 7 | 15 | 6 | 15) 2 栗原

保坂 坂 2 (1111 | 2 | 2) 0 栗原

▼一回戦

横保 田 1 (6 | 15 | 7 | 15 | 6 | 15) 2 栗原

保坂 坂 2 (1111 | 2 | 2) 0 栗原

稲谷 木 2 (1515 | 0 | 6) 0 日野原

菅野 野 1 (4 | 14 | 15 | 15 | 15 | 7) 2 笠井

男子は明学大

▼男子一回戦

電気大 3 | 2 | 2 明治大

成蹊大 3 | 1 | 1 青学大

立教大 3 | 0 | 0 専修大

早稲田大 3 | 0 | 0 成城大

国士館大 3 | 1 | 1 成蹊大B

日体大 3 | 0 | 0 都立大

▼準決勝

大東大 3 | 1 | 1 大東大

成蹊大 3 | 0 | 0 成蹊大

立教大 3 | 0 | 0 立教大

早稲田大 3 | 0 | 0 早稲田大

国士館大 3 | 1 | 1 国士館大

▼二回戦

成蹊大 3 | 0 | 0 成蹊大

立教大 3 | 0 | 0 立教大

早稲田大 3 | 0 | 0 早稲田大

国士館大 3 | 1 | 1 国士館大

▼準決勝

日体大 3 | 2 | 2 青学大

小川 川 2 (1515 | 4 | 11) 0 山崎

堀川 川 1 (17 | 15 | 15 | 18 | 18) 2 湯高

▼決勝

堀川 川 2 (1212 | 10 | 10) 0 宮武

中村 村 0 (7 | 2 | 11 | 11) 2 高坂

小片 片 2 (1111 | 2 | 1) 0 湯沢

▼一回戦

日体大 3 | 0 | 0 日女体A

堀川 川 2 (1515 | 0 | 5) 0 稲谷

小川 川 2 (1515 | 12 | 14) 0 横保

中村 村 2 (1515 | 9 | 5) 0 谷沢

小片 片 2 (1211 | 9 | 5) 0 谷沢

▼準決勝

大東大 3 | 0 | 0 成蹊大

明学大 3 | 0 | 0 早稲田大

▼決勝

明学大 3 | 1 | 1 大東大

▼一回戦

久保田 田 2 (1515 | 12 | 9) 0 伊藤

大塚 塚 0 (11 | 8 | 15 | 15) 2 向井

石橋 橋 2 (1515 | 9 | 15 | 10) 1 大江

大沢 沢 2 (15 | 8 | 15) 1 大江

榎田 田 2 (1517 | 6 | 16) 0 向井

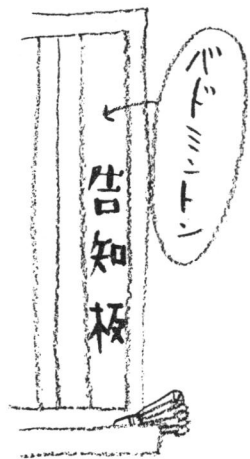
▼二回戦

榎田 田 2 (1517 | 6 | 16) 0 向井

大沢 沢 2 (15 | 8 | 15) 1 大江

石橋 橋 2 (1515 | 12 | 9) 0 伊藤

大塚 塚 0 (11 | 8 | 15 | 15) 2 向井



「マレーシア」を招待
長崎臨時総会

長崎臨時総会

日本バドミントン協会国体臨時総会(10・25、長崎県諫早市) 森友副会長を議長に選出、報告事項に移る

【理事長報告】川端理事長から左記に報告

- ①第59回全英選手権大会視察
- ②国体委員会
- ③競技力向上委員会
- ④アジア競技委員会
- ⑤日韓高校交歓競技会
- ⑥第18回全国青年大会

国体について：長崎大会で初めてコートマットを使用する。鹿児島国体(47年)の体育館は申し分ないが、照明の点で、ちょっと難点がある。なお鹿児島国体のところから国体参加人員が三七六人となる予定。現在のワケは三四四人。 競技力関係について：補助金が小額(20万円強)だがふえた。これはニ杯の成功によるものと思われる。

【専門部報告】 ①44年度全日本総合(相場事務理事) ②45年度用具検定なら

びに審査↓第3号「告知板」参照(松本常務理事) ③第8回トマス杯男子世界選手権アジア予選(小宮副理事長) ④第5回ユーパー杯女子世界選手権(森友副会長) ⑤43年度会計報告(並木理事) ↓以上、称略

【審議事項】

①マレーシア・トマス杯チームの招待について本部提案どおり承認。45年1月に男子4人を招待、競技会を東京で開催。

②本誌発行の件について取材、運営経費別で、各号、有代部数最低二千で、収支とんととなる。但し販売、配布方法については、今後、いっそうの研究が必要であり、販売をふくめ全協会員の協力がなければ将来の発展はない。以上、各地方支部の全面協力を前提に、発行についての賛同あり。

③専門委員会規定一部改正の件 理事承認を了承。 ④大会運営規定改定承認。 ⑤国際交流資金の増収を計りたいとの財務委要望承認。

⑥審判員のジャッジのさいのジュスチュエア図解について一月総会までに、審判員心得の中に示すという事で承認。

⑦高校総体参加選手から国際交流資金を徴集することのとりやめについて理事会に付託、一月総会で討議し直す。

⑧高校総体に地元ブロックから参加チームをふやす件について松本担当理事を通じて結果を報告する。

⑨国体予選に地方大会の中心として権威を持たず賛成。 ⑩高体連関係理事について高体連常任委員の中から三、四人を日本バドミントン協会の常務理事または理事とし、これを高体連担当常務理事とする件については、理事会で検討の上、一月総会で討議します。

⑪外国派遣資金の撤廃と補助金の増額について増額については研究し直す。 その他、本誌「出版局」について発行事業のために日本協会の規約の一部改訂。

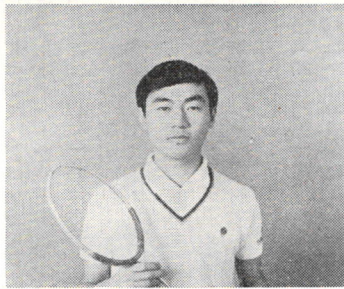
昭和43年度会員登録

(43.4.1~44.3.31)

名	一 般			高 校			計	名	一 般			高 校			計																							
	海	道	森	田	手	城			形	島	玉	城	馬	木		葉	梨	京	川	鴻	野	山	川	井	岡	知	阜	重										
北	2	2	7	2	0	0	4	2	7	1	7	5	1	6	8	3	4	3	京	1	7	5	1	6	8	3	4	3										
海			9	2	0	0	2	9	3	都	6	6	1	6	1	2	2	7	兵	3	0	3	2	2	7	2	2	7										
青			6	2	6	0	3	2	7	庫	2	0	2	2	7	7	6	0	大	1	0	5	4	2	2	7	2	4	7									
秋			8	7	2	6	1	1	3	阪	2	0	2	2	7	2	2	7	奈	1	0	5	4	1	0	4	2	4	7									
岩			8	9	5	5	6	4	5	良	1	0	5	4	1	0	4	2	和	1	0	5	4	2	2	0	9	0	9									
宮			3	0	4	0	6	7	0	山	1	5	4	2	6	6	3	2	滋	1	2	0	2	0	1	9	5	0	0	0								
山			9	3	1	6	2	5	8	賀	1	2	0	1	9	5	3	1	岡	1	2	0	1	9	5	3	1	5	0	0	0							
福			8	2	2	0	1	0	2	山	2	9	2	9	4	6	8	0	岡	1	2	2	0	1	0	3	2	0	0	0	0							
琦			1	3	0	4	4	7	0	取	1	1	1	7	7	7	7	0	島	1	1	1	3	5	2	1	5	0	0	0	0	0						
茨			5	6	5	2	2	4	1	島	1	0	7	2	0	0	0	0	山	1	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
群			2	1	2	0	3	4	2	根	1	0	7	0	0	0	0	0	口	1	3	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
祈			1	3	0	6	5	2	1	川	5	6	4	0	8	0	8	0	媛	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
千			5	6	5	2	2	4	1	媛	9	5	0	0	3	0	0	0	知	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
山			7	2	2	0	0	9	2	島	5	0	1	3	3	3	3	3	島	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
東			2	5	2	4	8	9	0	山	1	8	5	1	3	5	5	5	香	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
神			3	6	1	4	8	3	4	愛	3	6	6	6	6	6	6	6	高	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
新			8	4	6	0	3	6	0	德	1	8	5	1	4	5	5	5	福	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長			2	5	6	0	6	8	3	福	1	8	5	1	4	5	5	5	佐	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富			1	1	0	5	2	0	0	長	1	3	6	6	6	6	6	6	大	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石			1	1	0	5	2	0	0	熊	1	2	2	2	2	2	2	2	熊	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福			6	1	4	4	8	3	3	宮	1	2	2	2	2	2	2	2	崎	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静			1	1	7	4	6	3	4	沖	1	2	2	2	2	2	2	2	崎	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛			1	1	7	4	6	3	4	総	1	2	2	2	2	2	2	2	計	5	9	3	9	9	1	4	6	1	5	0	8	5						

〈表紙〉

本間順次 (中大三年)



バドミントン競技界では、いわば「サラブレッド」型のエリート。

高校の名門、新潟商時代、インターハイの単複にまず優勝。一昨年、東京で開かれた国際学生選手権では、一年生で主将をつとめ、ダブルス(パートナー今泉)に優勝、シングルスでもいまや、世界の二、三を争う名手、タン・アイク・モン(マレーシア)と決勝を争った。全日本学生には今回で二連勝したし、海外遠征もマレーシア招待、今回のト杯対香港戦を経験。二十歳を越したばかりだがいまやホープというより、日本にとって、第二のエース。

数少ないサウススポーの一人。やや鋭さとパワーフルな点には欠けるが、フォームは理想的で美しく、試合ぶりもスマートだとの評判が高い。人との応待、受けこたえなどでも「いまだきめずらしく、礼儀正しい」とのこと。一七四センチの身長、ハンサムな青年だけにファンも多く、女子高校生などの間では「アイドル的な存在」とも聞く。「あまりにも優等生」という評も、彼自身の人生経験が増せば吹っくことだろう。

は、販売、会計の担当者。連日舞い込む年間購読申し込み、書類をさばくのに、てんこま。ときには「申し込んだのにまだ着かぬ」「同じものが二度来た」などと、お叱りを受けることもありますが、郵便事情が極度に悪く、東京都内の手紙が二週間かかった、などということもありますので、その点、おふくみおき下さい。(S)

編集後記

○：愛読者の皆さま、あけておめでとうございませす。スタート当初、いわゆる「三号雑誌」になるのではと、いろいろ、ご心配をかけて、この「バドミントン界」も、おかげさまで、もちまして、なんとか無事、年を越すことができました。

まことにささやかな、内容的にも、まだまだ不足だらけの「ふつつかもの」ではあります。本邦唯一のバドミントン競技総合雑誌である、ということだけ心だのみに、これからは、が

編集部から

読者のみなさんからの投稿を歓迎します。原稿の長さに制限はありませんが、編集のつごう上、一部を書き直したり、割愛したり、何回かに分けて掲載したりすることがありますので、あらかじめご了承下さい。

- ① 質問箱Ⅱ主として技術、トレーニング関係の質問。または
- ② これに対する批判、反論など
- ③ 各種大会の記録
- ④ 人事、消息、組織の決定事項、お知らせもの
- ⑤ この雑誌に対する意見、希望、批判など
- ⑥ その他、なんでも。おりにふれての随想、むかしばなし、など。

があり「日本協会は組織的にまだだ、問題は山積しているが、役員も選手もいい人ばかりだから、つい、マスコミも協力したくなる」とあった。ありがたいことだが、競技界も組織も、協会の会員がまずしつかりすることから発展する。編集部の中にも「なにをたのんでも、予定どおりにやってくれない人が多い」と、全国の協力役員筋が機能的でないことを指摘している人もいる。打ちあけ話になるが、第二号で団体ブック予選の記録、代表選手名の連絡をたのんだとき、予定どおりに協力してもらえたのは数少

【バドミントン界】 第五号

昭和44年12月25日印刷
昭和45年1月1日発行

編集兼発行人 川端昇 市
発行所 東京都渋谷区神南町25
岸記念体育会館内

日本バドミントン協会
電話 四六七三二二(内線二五二)
四六七三〇九五(直通)

郵便番号 一五〇
振替口座 東京三二一九三
印刷所 東京都江東区永代一五の二
有限会社和田印刷所

定価 一部 百円

ダブルス三態

男子ダブルスは法大勢が一、三位を占め、シングルスで優勝を争った中大勢も、それぞれ、二、四位に終わった。

ダブルスは「水もの」などといわれるが、これはコンビのイキが合うかどうか、が勝負のポイントになるからだ。

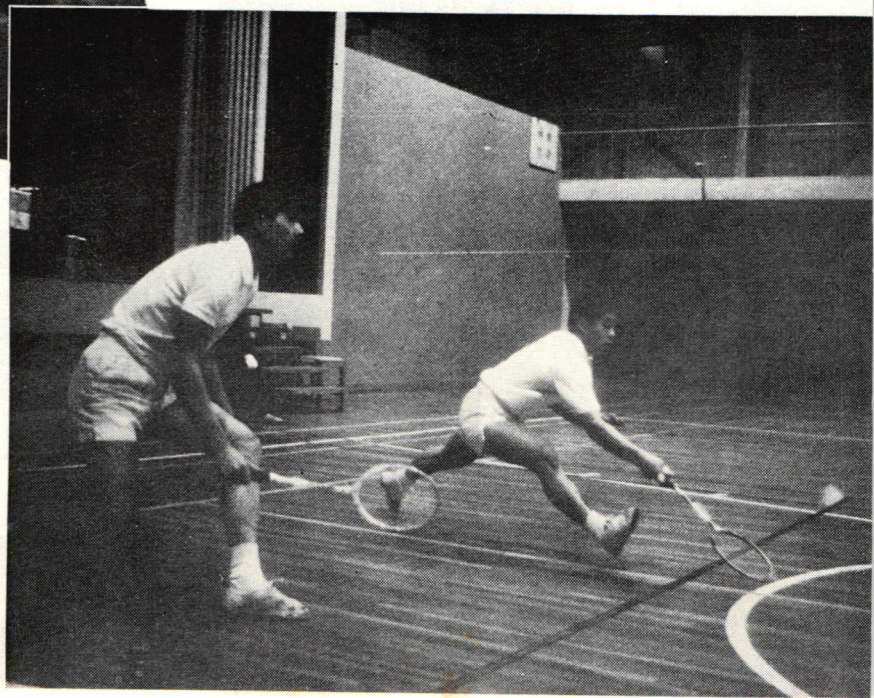
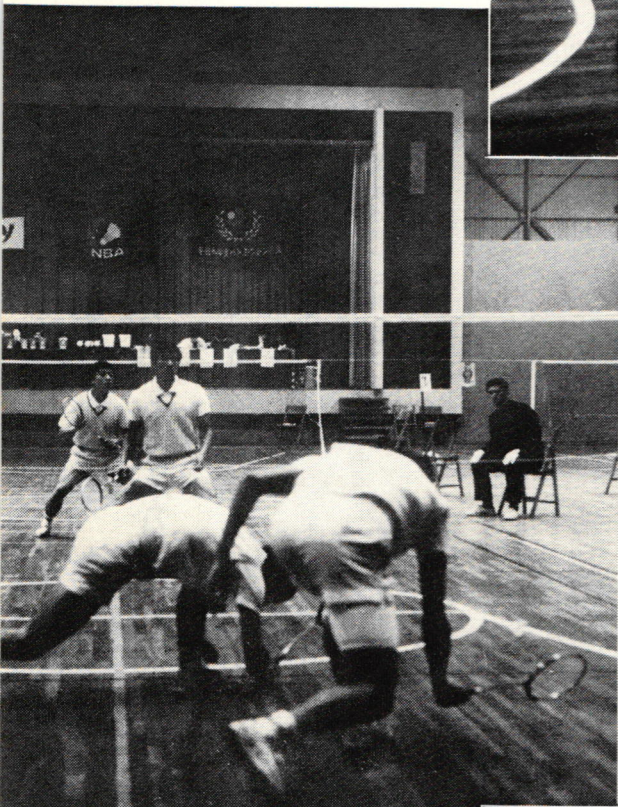
逆にいうと、これは「夫婦」のようにツーカーの仲にならないと、なかなか勝てないということか。

一才からのコンビ、森・池田組が楽々とタイトルをとったのも、なるほど、と思われる。

▶二位に終わった東田(右)
鷲尾組(中大)

◀三位決定数をかちとった
梅野組(右) 見島組(中大)に

▶初優勝のト杯候補
森(右) 池田組(法大)





▶男子シングルの笠井君(法大)
 ▼男子ダブルスの田所(右) 草島君(法大)
 ▶男子ダブルスの笠井(右) 滝野君(法大)
 ▲女子シングルの谷沢嬢(日女大)は最敬礼



わあ、うれしいな!!

〈関東学生新人戦から〉

人間、ほめられて怒るやつはいない。歯の浮くようなおせじだつて、ついニヤニヤしてしまうほどだから、みずからの血と汗のじむ努力で、栄冠を獲得したス

ポーツマンが、表彰状やらレブリカやらを手にして、相恰をくすすのも、無理からぬところ。よーくながめてみると、こつちまで笑い出したくなる。



次号予告

バドミントンにシーズンなし。寒さもなんのその、今年も毎月のように、いい競技会が目白押し。そのトップを切って、新企画の女子チャンピオン・トーナメントが正月、初登場しました。

次号は、この詳細をまず、お伝えします。このほか、新しい年を迎え、競技発展のために日本バドミントン協会の首脳部が語る「新春座談会」。人物欄はホープ紹介のワイド版です。ご期待下さい。

【主な内容】

- ▽女子チャンピオン・トーナメント詳細特集
 - ▽新春座談会「バドミントン界前進のために」
 - ▽ワイド版「金の卵」続々登場
 - ▽写真グラフィック（全日本選手権の熱戦から）
 - ▽レコード（全日本選手権記録詳細）
 - ▽技術講座「百万人のバドミントン上達法」
講師・伊藤記基、毛利清志、遠井稔男先生執筆
 - ▽スポーツ・サロン（スポーツと心理学ほか）
 - ▽海外ニュース
 - ▽北から南から
 - ▽質問箱
 - △私の場合
- など、おもしろい読みもの満載

……………(バ)期待下さ……………

タイガー サイズ21.5~27.0 ¥1,000

バドミントン



Onitsuka
Tiger

オニツカ株式会社

神戸市須磨区寺田町 3-1

支店 / 神戸・大阪・東京

華麗な
プレーに
鋭い動きを加えた
タイガーバドミントン

YONEYAMA RACKET

NO.8000

Alumina Hy-Power

アルミナハイパワー

アルミフレームに アルミシャフト採用!!

軽い

強い

弾む

— アルミニウム合金の比重は約2.7で、銅の8.9や鉄の7.9に比べて1/3に過ぎず、非常に軽くリストの弱いプレーヤーに向きます。

— 特殊製法によるアルミニウム合金をラケットフレームに用い、鋼鉄に匹敵する強さが発揮されました。

— 木製、スチール製に比較して柔軟性、反撓力が抜群。打球の初速が早く、更に加速が増加してすばらしいスマッシュが打てます。



株式会社

ヨネヤマラケット

全国運動具専門店にてヨネヤマのラケットと御指定下さい。

月刊「バドミントン界」

第五号

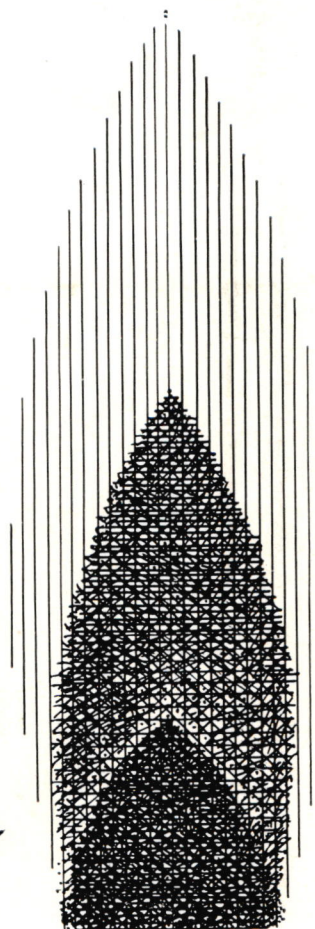
昭和四十四年十二月二十三日才三種郵便物認可
昭和四十五年一月一日発行(毎月一回一日発行)

発行所

東京都渋谷区神南町二五
岸記念体育会館内

日本バドミントン協会

定価百円



TOKYO gas



東京瓦斯株式会社

東京都中央区八重洲1の3

電話(273)0111(大代表)